

高知県観光ビジョン最終報告書

(高知県観光政策に係る取組状況とその成果)

平成 23 年 4 月

高知県観光振興部

目 次

| | | |
|------|--------------------------|-----------------|
| はじめに | ～高知県観光を取り巻く環境の変化～ | |
| 第1章 | 高知県における観光政策の成果と課題 | |
| 1 | 地域の観光資源の商品化と情報発信 | |
| 2 | 二次交通の整備 | |
| 3 | 観光客をおもてなしの心で迎える県民運動の展開 | |
| 第2章 | 高知県観光ビジョンの目標に対する成果と課題 | |
| 第3章 | 最後に | ～新たな課題と今後の取り組み～ |
| 添付資料 | あったか高知観光条例の基本方針の実施状況 | |
| | ・基本方針10項目のこれまでの取り組み（資料1） | |
| | ・市町村等への助成事業（資料2） | |

<この報告書について>

この報告書は、高知県（高知県観光コンベンション協会、四国ツーリズム創造機構（旧四国観光立県推進協議会）を含む）が、高知県観光ビジョン中間報告書以降に、新規・拡充してきたものを中心に記載しています。

また、平成19年に中間報告書をまとめているので、この報告書は計画期間の後期（平成19年度から平成21年度）についてとりまとめました。

なお、平成21年度は、高知県産業振興計画における観光八策の取り組みを、観光ビジョンの基本方針10項目に分類して整理しています。

はじめに ～高知県観光を取り巻く環境の変化～

高知県が観光立県を目指すための基本的な考え方と方向性を示した「あつたか高知観光条例に基づき、平成17年3月に「高知県観光ビジョン」を策定し、平成19年9月に、高知県観光ビジョンの中間報告の取りまとめを行いました。

その後、燃油の高騰や新型インフルエンザの流行など、いままでにはなかった様々な社会環境の変化があり、観光客の足並みに強い影響を及ぼしましたが、その一方で、高知県にゆかりの深いNHKの大河ドラマの放送もあり、高知県が全国各地にPRされたことで、県内へ多くの観光客が訪れるきっかけができたことなど、高知県観光にとって明るい材料もありました。

国においては、平成20年10月に国土交通省から観光庁が発足しました。観光庁では、二泊三日以上滞在できる観光圏の構想、国際観光の推進を掲げ、「観光立国」を目指す取り組みが進められていることは、高知県の観光行政にとっても大きな後押しとなりますが、それと同時に日本各地との地域間の競争も激しさを増すことが予想されます。

(参考) 観光面へ影響した社会的・外的要因（高知県と全国の比較）

| | 全 国 | 高 知 県 |
|--------|--|--|
| 機 会 | <ul style="list-style-type: none"> 観光庁の発足 高速道路上限1,000円割引 高速道路無料化社会実験 | <ul style="list-style-type: none"> NHK大河ドラマ「功名が辻」「龍馬伝」の放送 高知須崎高速道の無料化実験 高知自動車道の完全四車線化 |
| 脅 威 | <ul style="list-style-type: none"> 新型インフルエンザの流行 燃油の高騰 少子高齢化の進展 世界的な景気の悪化 | <ul style="list-style-type: none"> 高知大阪特急フェリーの廃止 |

こうして社会環境が大きく変化する中で、高知県では、観光行政により一層の力を入れて取り組むため、商工労働部の理事所管であった組織体制を見直し、平成 19 年度に新たに「観光部」¹を設置し組織体制を強化するとともに、あわせて「おもてなし課」を設置し、観光客の皆様に県民挙げておもてなしの心で接する取り組みを県民運動として展開する体制を整えました。

また、平成 20 年 3 月から開催した「花・人・土佐であい博」、平成 22 年 1 月から開催した「土佐・龍馬であい博」を着実に推進するため、それぞれに専門部署²を設置し、着実な取り組みを推進してきました。

そして、平成 21 年には、高知県の経済を浮揚させるため、観光や農林水産業・商工業との連携、県内を 7 地域に分けた振興策などが盛り込まれた「高知県産業振興計画」を策定しました。

この高知県産業振興計画の中で観光分野の取り組みを策定するに当たっては、高知県観光ビジョンの取り組みで培ってきたノウハウを盛り込みながら、成長戦略「観光八策」として新たに施策体系がまとめられました。

この観光八策は、一次産業や商工業等との産業間の連携を深めながら、当面の目標として平成 23 年度末までに県外からの観光入込客を 400 万人とすることとしており、毎年 P D C A サイクルを通じて課題を明らかにし、改善を行いながら、目標達成に向けて取り組むこととしています。

¹ 平成 21 年度からは、「観光部」を「観光振興部」に、「観光振興課」から「観光政策課」へ名称変更。

² 花・人・土佐であい博推進課（平成 19 年度～20 年度）、土佐・龍馬であい博推進課（平成 21 年度～平成 22 年度）

第1章 高知県における観光政策の成果と課題

この章では、平成19年9月に公表した高知県観光ビジョンの中間報告で今後の課題としていた「地域の観光資源の商品化と情報発信」「二次交通の整備」「観光客をおもてなしの心で迎える県民運動の展開」の対応状況等を記載しています。

1 地域の観光資源の商品化と情報発信

(1) 高知県の観光資源をテーマにした博覧会の開催

(ア) 花・人・土佐であい博の開催

平成18年のNHK大河ドラマの放送にあわせて開催した「土佐二十四万石博」では、高知城周辺の3会場を拠点としたことから、高知市中心部しか賑わいがなかったという課題がありました。

こうした課題を踏まえ、「花・人・土佐であい博」では、県下全域をパビリオンとして、一年を通じて各地域の特色を活かした地域イベントを展開するとともに、連携イベントとして「ジャパンフラワーフェスティバル2008inこうち」や「五台山花絵巻」などを実施しました。

その結果、平成20年3月1日から平成21年2月1日までの約11か月の開催期間中に、約97万人の来客がありました。

県内全域をパビリオンとした74の地域イベントを行いました。半数以上が新たに企画をしたもので、それぞれに地域の特性を生かし、日ごろ身近にある素材も見せ方、磨き方によって観光商品となることを地域の方々が体験していただき、自信を深め、積極的な意欲を持っていただきました。

個々のイベントの中で対前年の同期比で2倍の誘客をした五台山花絵巻や、3日間で約4万6,000人と予想を2.5倍も上回ったジャパンフラワーフェスティバルなど、特別イベントや連携イベントからは、今後大きなイベントを実施するに当たっていろいろな教訓を学ぶことができました。

もっとも、他方においては反省点も多くあり、期間が限定されていたり、参加費が高額であったり、また開催の最低人数が集まらず実施できなかったものなど、旅行商品としてはまだまだ未熟な部分も見受けられました。

また、メイン会場がなかったことから、博覧会として分かりづらく、PRしにくいという部分や、来ていただいた観光客の方々に地域のお土産を買っていただく、もう一泊していただくといった、地域にお金が落ちる仕組みを強化することが課題でした。

(イ)「花・人・土佐であい博」から「土佐・龍馬であい博」へ

大河ドラマ「龍馬伝」の放送が決定し、全国から大勢の観光客に高知を訪れていただける絶好の機会ができたことで、平成21年1月からの放送にあわせて「土佐・龍馬であい博」を開催しました。(平成22年1月16日から平成23年1月10日まで)

「土佐・龍馬であい博」では、「花・人・土佐であい博」の課題を踏まえ、JR高知駅前にメイン会場を、安芸市、梶原町、土佐清水市の県内3箇所にサテライト会場を設置し、さらにJR高知駅前に観光情報発信館「とさてらす」を設置することで、県内観光の情報発信機能とコンシェルジュ機能を設け、地域を周遊する仕組みを作りました。

開幕前から、大手旅行会社や出版社へのプロモーション活動を行ってきたことで、100を超える旅行商品の造成につながったほか、「花・人・土佐であい博」の実施により、各地域でイベントや体験メニューの発掘・商品化が進んだことから、「土佐・龍馬であい博」の会場だけでなく、各地域の観光素材とあわせて県外へ売り込むことができました。

平成23年1月10日に閉幕し、4会場の入館者数は、当初の目標を大きく上回る92万人以上となりました。平成22年の主要観光施設の入込客数³は+65.6%、主要旅館・ホテルの宿泊者数⁴は19.3%と大幅な増加を見せ、日本銀行高知支店が調べた⁵大河ドラマ「龍馬伝」の経済効果は535億円とされ、開幕前の試算が234億円、開催期間中に409億円と上方修正したことを考えると予想以上の盛り上がりを見せたこととなります。

こうした盛り上がりをも、いかに継続し、本県の観光の底上げにつなげていくかが大きな課題となっています。

³ 高知県観光政策課調べ、主要56施設と土佐・龍馬であい博4会場の合計

⁴ 日本銀行高知支店「金融経済概況」より

⁵ 日本銀行高知支店「金融経済概況」より

(2) 旅行業の免許を取得した財団法人高知県観光コンベンション協会による 地域商品の企画造成・販売（高知県観光コンベンション協会の活動）

県と財団法人高知県観光コンベンション協会（以下、「コンベンション協会」という。）の役割は、県は観光行政の企画立案や団体間の調整などを、コンベンション協会は実動部隊としての誘客活動や観光商品づくりのアドバイスなどを行うことです。

コンベンション協会の強みは、平成 18 年に旅行業の資格（第二種旅行業務取扱登録免許）を取得したように、行政では踏み込むことができない専門性を持った誘客を図れることであり、県とコンベンション協会の互いの組織の特性が十分発揮していくことが必要です。

コンベンション協会は、新たに着地型旅行商品の企画造成や主催旅行を取り扱っていますが、商品の造成だけでなく、セールス活動や国際旅行商品の取り組み強化が必要ですので、県としても更なる連携を深め、観光客の誘致に努めていきます。

(3) 地域エージェント組織の育成

本県の観光をまるごと楽しんでもらうためには、観光地と観光地を結び、周遊観光ルートを提供したり、その地域でなければ体験できないような着地型旅行商品を提供したりすることが必要で、そのためには、広域単位での取り組みをコーディネートする組織が必要です。

幡多地域においては、これまで教育旅行の受入実績のある幡多広域観光協議会有り、県としても幡多地域をモデルとして県内に広めようと、組織強化の支援を行ってきました。

幡多広域観光協議会は、一般旅行客も受入れる態勢を整備するため、平成 22 年 6 月に任意団体から一般社団法人となり、地域をコーディネートする組織として今まで以上に重要な役割を担うことになりました。

広域ブロックごとに一泊以上滞在できる観光地づくりといった広域観光推進体制を整備していくためには、各地域においても同様の組織が必要となってきますが、各地でも広域観光を行う組織の立ち上げや新たな動きが見られていますので、県としての更なる支援を行っていきます。

(4) 四国の一体的な観光など、広域観光メニューの造成と情報発信

四国においては、平成 5 年に全国に先駆けて、四国 4 県と J R 四国による「四国観光立県推進協議会」といった県域を越えて観光振興に取り組む組織を発足し、四国の豊かな観光資源を国内外に紹介し、四国のイメージの向上や、観光客の誘致拡大と受入態勢の整備促進を図ってきました。

しかしながら、地域間競争が激化する中で、四国が市場から選ばれるためには、行政主体であった組織から、多くの民間企業・団体が参画した官民一体となった組織による観光振興の取り組みが必要なことから、平成 21 年 7 月 31 日に、「四国観光立県推進協議会」を発展的に解散し、新たに航空会社や旅行代理店などの民間企業を新たな構成員に加えた官民一体となった「四国ツーリズム創造機構」が発足しました。

この「四国ツーリズム創造機構」では、平成 22 年度から 3 年間の「四国観光交流戦略」を策定しましたが、その戦略の中には、観光客の滞在期間拡大を促し、さらには四国全域への効果波及を目指すことを目的に、四国西南部を「重点着地エリア」として位置づけました。

これは、従来の自治体主導の枠組みを超えた、エリア均等意識に束縛されない民間ならではの発想で取り組むものと言えますが、高知県西部はその重要な役割を担うと同時に、この機会をうまく観光振興に生かすことが必要です。

また、四国は国内大都市圏や世界に対する認知度がまだまだ低いといった課題もあります。

そのためにも、四国 4 県が連携して、観光資源の魅力をあげて、国内外に向けて P R し認知度を高めていく必要がありますが、県としてもこれまで取り組んできた観光客の誘致拡大と受入態勢の整備を進めることに加え、民間ならではの発想や新しい取り組みをうまく活用していきます。

(5) 情報収集力の強化、効果的な情報発信

観光客のニーズは多様化し、観るだけの観光から、一次産業などとの連携やまち歩きといった体験型・交流型の観光の需要が高まっています。また、インターネットの普及に伴い、自分で情報を収集し、宿泊も直接予約することができる環境が整っていることから、数多くの情報をもとに旅行計画を選択することができるようになりました。

こうして情報があふれる中で、個人の多様化するニーズに対して、高知県の魅力を効果的に伝えるためには、魅力ある情報を冊子やインターネットを活用して発信する必要があります。

高知県では、コンベンション協会が運営する「よさこいネット」のリニューアルを行い、コンテンツの充実を図ったほか、英語以外にも中国語や韓国語といった外国語にも一部対応しました。

また、高知・土佐の特産品や観光情報などを提供する総合ポータルサイトとして「高知まるごとネット」を新たに開設しました。

今や、多くの人々が携帯電話やモバイル端末といった、どこでも持ち運べる情報端末を持っており、そうした方に、いかに情報発信や検索機能などの充実などを図っていくかが重要になります。

また、国内で急速に進みつつある国際観光を視野に入れた場合、本県のターゲットとなる東アジア圏の外国人観光客へ対応するためには、英語以外にも韓国語や中国語といった外国語に対応していく必要があります。

今後は、携帯電話等に対する情報発信を強化するほか、国際観光への取り組みとして、地図やモデルコースのホームページでの紹介や観光パンフレット、観光案内板等における多言語案内に取り組んでいきます。

2 二次交通の整備

本県の弱みとして、観光客の周遊性を確保するための二次交通が不十分であり、公共交通機関を利用して県内各地を観光することが難しいという現実があります。県外観光客の多くが自家用車や観光バスを利用しているという実体がありますが、二次交通を使う観光客に不便をかけないためにも、関係事業者との協力により、対策を講じていく必要があります。

コンベンション協会では、高知市内と牧野植物園・桂浜を結ぶ「MY遊バス」を土・日・祝日、ゴールデンウィークや夏休みに運行していましたが、「花・人・土佐であい博」期間中には、高知市内と牧野植物園を平日も運行する「MY遊バスであい博号」を開始しました。

また、「土佐・龍馬であい博」の開催にあわせて、従来のMY遊バスを、土・日・祝日のみから毎日運行に切り替えました。

ただ、周辺部の観光地に行くまでに、路線バスなどの乗り継ぎが必要となりますが、鉄道などとの乗り換えと違い、バスの場合はどのバスにどう乗り継げばよいか、目的地までの時間距離を利用者にわかりやすく提示できる仕組みがありません。

今後は、二次交通の維持・整備とあわせて、利用者にとってより使いやすいサービスを提供できるよう検討していきます。

3 観光客をおもてなしの心で迎える県民運動の展開

県は、平成 19 年度に新たに観光部を設置したことにあわせて、「おもてなし課」を設置しました。おもてなし課では、観光客など県外から訪れる方々が高知に来てよかったと、また機会をつくって高知を訪れてみたいと思える取り組みを進めています。

おもてなし課ができてからの新しい取り組みとして、観光ガイドの研修費用の助成など観光ガイドの養成を図ってきたほか、観光地・観光ルート的美化清掃活動や、高知県を訪れる県外や海外からの観光客の方々が気軽に利用できるトイレの目印としておもてなしシールの配布を行うなど、おもてなしの心で観光客をお迎えする環境整備を進めてきました。

また、様々な功績をあげている著名な方を観光特使として任命する制度を設け、観光特使ご自身の活躍を通して高知県の観光情報の発信や PR をしていただくことで、本県の認知度の向上を図り、観光客増加につなげる仕組みをつくりました。

大手旅行会社の都道府県別魅力度ランキング調査では、地元ならではの食や特産品が多いという項目で例年上位を占めていますが、「地元の人ホスピタリティを感じた」という項目も常に上位に位置しています。これは、あくまでもひとつの結果ではありますが、高知県が多くの方に良い評価を受けたということとあわせて、全国に向けて大きく PR できるものなので、引き続き良い結果が出せるよう取り組んでいきます。

第2章 高知県観光ビジョンの目標に対する成果と課題

高知県観光ビジョンでは、「地域が元気になること」「地域経済が潤うこと」をテーマに、県外からの観光客を平成16年の約308万人（推計）から平成21年に330万人を目指すことを県の目標としていました。

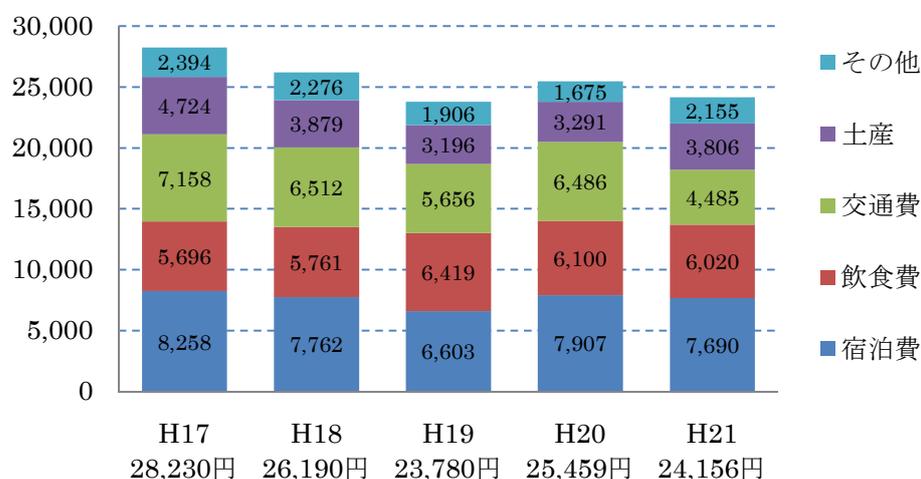
平成21年の県外観光客は、約316万人（推計）と、結果的に目標は達成できませんでしたが、本県が目指す体験型観光に必要な観光ガイドや農林漁業民宿などが増加し、観光を軸とした地域の盛り上がりをみせてきました。

1 高知県観光ビジョンのテーマに関する指標

(1) 県外観光客の観光消費額の推移

高知県県外観光客動態調査によると、概ね25,000円前後を推移しています。平成21年の交通費が大きく下がったのは、平成21年3月から始まった高速道路の上限1,000円割引効果によるものと考えられます。

県外観光客一人当たり消費額（円）



(2) 花・人・土佐であい博（平成20年3月～平成21年2月）の経済効果 コンサルタントに経済効果の調査を委託した結果は次のとおりです。

経済波及効果は85.1億円、生産誘発倍率は1.61倍。

就業者誘発人数は1,107人。（雇用者誘発額 27.5億円）

また、ガソリン価格の高騰や景気の低迷など、観光面にとっても非常に厳しい状況のもと、観光庁の統計調査の速報値で平成 20 年度前半の宿泊旅行者数を対前年同期と比較すると、全国の約半数の道県において対前年比がマイナスとなっている中で本県は 8 % の伸び率を示しました。

(3) 土佐・龍馬であい博（平成 22 年 1 月～平成 23 年 1 月）の経済効果

開幕前に日本銀行高知支店が試算した経済波及効果は 234 億円とされていましたが、平成 22 年 4 月には 409 億円に大幅な上方修正が行われました。

土佐・龍馬であい博の閉幕後の日本銀行高知支店の発表（平成 23 年 2 月 1 日）によると、これらの数字をさらに上回る 535 億円とされました。

(4) 「観光ガイドの数」

県主催の観光ガイドセミナーや、観光ガイド団体が行う研修への助成などを行い、観光化ガイドの養成を図ってきました。

| | 平成 20 年 4 月 | 平成 21 年 4 月 | 平成 22 年 4 月 |
|-------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 組織数 | 15 団体 (10 市町村) | 18 団体 (13 市町村) | 25 団体 (18 市町村) |
| ガイド人員 | 346 人 | 375 人 | 447 人 |

(5) じゃらん宿泊旅行調査の都道府県別魅力度ランキング

「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」 2010 順位 1 位、2009 順位 2 位

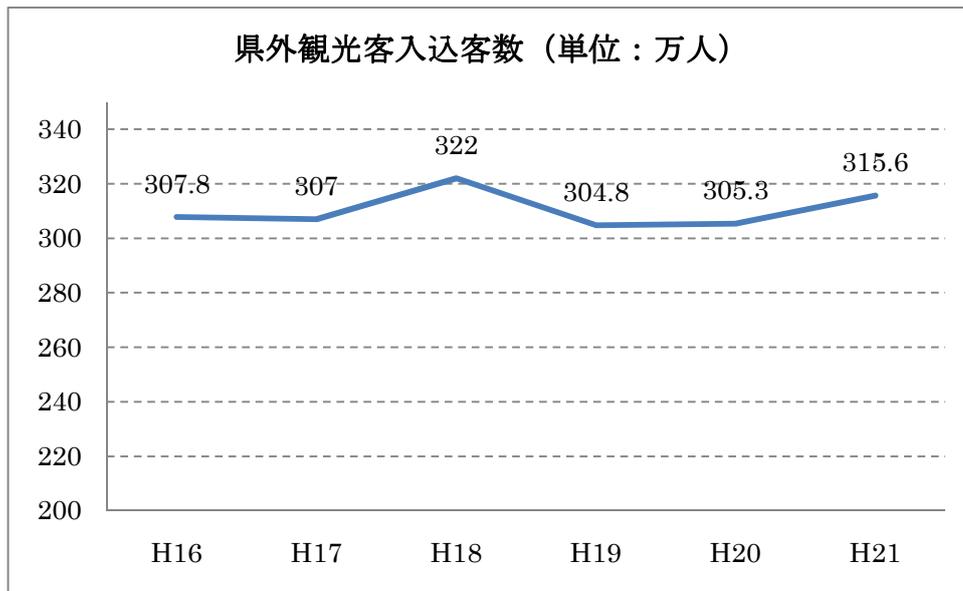
「魅力ある特産品や土産物が多かった」 2010 順位 3 位、2009 順位 4 位

「地元の人々のホスピタリティを感じた」 2010 順位 5 位、2009 順位 4 位

1 高知県観光ビジョンの目標に関する指標

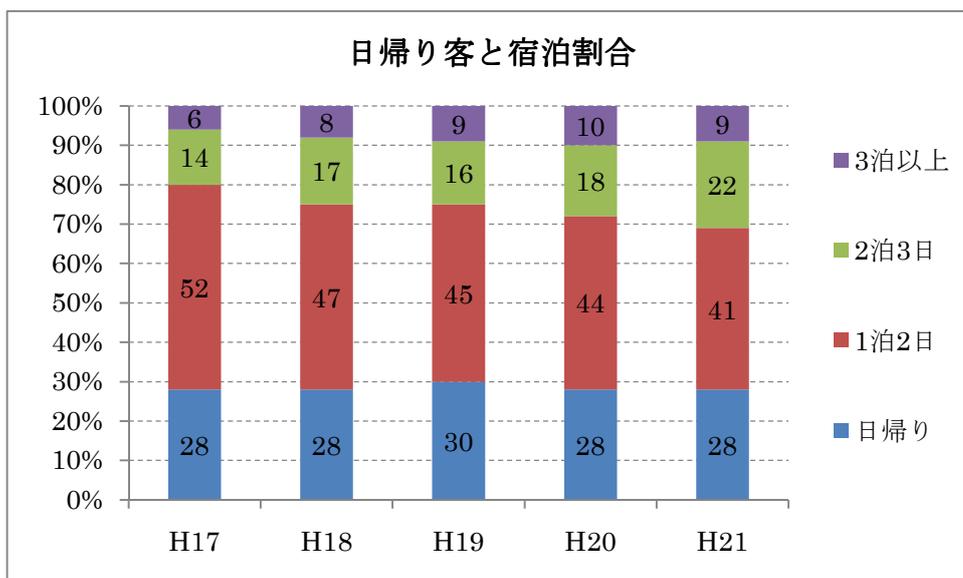
(1) 県外観光客の入込客数

高知県県外観光客入込調査によると、300 万人平成 16 年の約 308 万人（推計）から概ね横ばいで推移し、平成 21 年の実績は約 316 万人（推計）でした。



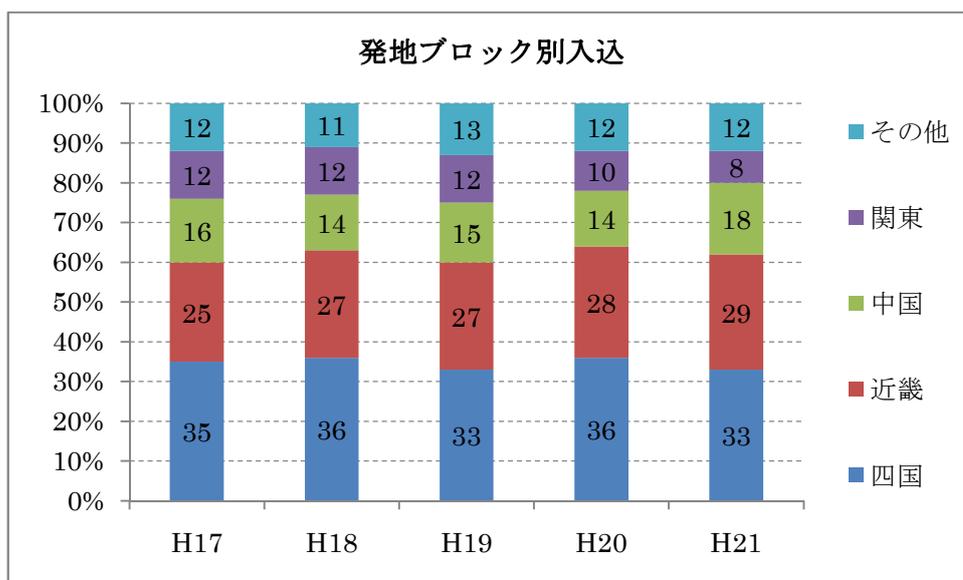
(2) 県外観光客の日帰り客と宿泊割合

高知県県外観光客動態調査によると、1泊2日の割合が減少しており、2泊3日の割合が増加しています。



(3) 県外観光客の発地ブロック別割合

高知県県外観光客動態調査によると、高知県へ観光で訪れる地域は、四国3県、近畿地方が大半を占めており、続いて中国地方、関東地方となっています。



第3章 最後に ～新たな課題と今後の取り組み～

「土佐・龍馬であい博」から「志国高知 龍馬ふるさと博」へ

「花・人・土佐であい博」により、地域イベントや体験メニューの発掘・商品化といった県民参加の観光資源の磨き上げなど、地域が主体となった様々な取り組みが芽生え始め、平成22年に入り、大河ドラマ「龍馬伝」や「土佐・龍馬であい博」の開催により、本県にはかつてないほどの観光客の賑わいがありました。

しかしながら、「龍馬伝」や「土佐・龍馬であい博」の終了後に、この盛り上がりをいかに継続し、誘客に生かしていくかということが、本県の観光振興にとって非常に大きな課題です。

観光ビジョンは、平成21年度に策定された高知県産業振興計画の産業成長戦略「観光八策」に引き継がれ、400万人観光を目標に掲げ、PDCAサイクルに基づく進行管理を徹底しています。

そして、平成22年度の改定では、「土佐・龍馬であい博」の終了後を見据えた「ポスト龍馬博の推進」を改定の柱として掲げられ、この龍馬ブームによる盛り上がりをいかに継続し、本県観光の底上げを図っていくか有識者を交えて議論を深め、「志国高知 龍馬ふるさと博」の開催を決定し、持続可能な観光地づくりを実現するための取り組みを行うこととしました。

平成23年度は、平成24年度以降の目標を再設定するなど、大幅な計画の改定を行うこととしていますが、今後の計画の見直しにあたっては、観光ビジョンや産業振興計画の成果や課題等を踏まえながら、PDCAサイクルを徹底し、官民の連携を深めながら検討を進めていきます。

あったか高知観光条例の基本方針の実施状況

(基本方針 10 項目のこれまでの取組み)

- 1 観光資源の保護、発掘、育成の取組み
- 2 食文化の伝承、食の魅力を生かした取組み
- 3 地域の産業と連携する取組み
- 4 観光施設、観光サービス施設、交通基盤等の整備を促進する取組み
- 5 生活環境の美化、景観保全の取組み
- 6 観光ボランティア等の育成、確保の取組み
- 7 学校教育、社会教育における学習機会の確保の取組み
- 8 すべての人にやさしい観光地づくりへの取組み
- 9 観光情報の発信、国内外からの誘客を促進する取組み
- 10 四国 4 県の連携を促進する取組み

(注)

※【 】は平成 22 年度の所属名。観光振興部以外を記載。

※記載するものは、19 年度から 21 年度にかけて、

- ①県が取り組んだもの（市町村や団体等との協働したものを含む）
- ②新しく取り組んだもの（継続事業のうち拡充したものも含む）
- ③その他重要と思われるもの（時系列的な数値の変化があるなど）

基本方向 I 地域に光をあてる取組み

- 1 観光資源の保護・発掘・育成の取組み
- 2 食文化の伝承、食の魅力を生かした取組み
- 3 地域の産業と連携する取組み

| 基本方針 | これまでの取組み | | | | | | | | |
|--|--|-----------------|----------------|---------------|--------------|------------------|---------------|-------------------|---------------|
| <p>1 観光資源の保護・発掘・育成の取組み ≪「モノ・ヒト・コト」をみつけて生かそう≫</p> <p>「地域の日常」は「観光客（来訪者）」にとっては非日常の面白さの視点にたって、昔ながらの風景、自然、歴史、暮らし方を、観光資源として活用していきます。そのために、その地域ならではの「モノ・ヒト・コト」の魅力（資源）を生かした「体験型観光」に取り組んでいきます。また、温暖な気候や県内のスポーツ施設を活用したスポーツコンベンションや、豊かな自然や文化を情報発信するためにフィルムコミッションを活用していきます。</p> <p>具体的に進めていくこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域ならではの体験型観光に取り組もう ■スポーツ施設を活用してスポーツコンベンションを誘致しよう ■高知フィルムコミッションを活用しよう ■今ある観光資源の付加価値を高めよう | <p>○花・人・土佐であい博の開催</p> <p>土佐がまるごとパビリオンとして、春夏秋冬、四季それぞれに高知県内各地域ならではの食や文化、伝統などを体験し、あったか土佐人とであっていただくイベントを開催</p> <p>平成 20 年 3 月 1 日～平成 21 年 2 月 1 日</p> <p style="text-align: right;">74 事業 入場者数約 97 万人</p> <p><四季ごとの特別イベント></p> <table border="0"> <tr> <td>春：「土佐のおきゃく」2008</td> <td style="text-align: right;">入場者数 250,877 人</td> </tr> <tr> <td>夏：よさこいサマーフェスタ</td> <td style="text-align: right;">入場者数 6,227 人</td> </tr> <tr> <td>秋：高知県立牧野植物園「花遊山」</td> <td style="text-align: right;">入場者数 22,165 人</td> </tr> <tr> <td>冬：KOCHI キャンドルフェスタ</td> <td style="text-align: right;">入場者数 87,618 人</td> </tr> </table> <p><主な連携イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレ花・人・土佐であい博（平成 19 年 10 月 1 日～11 月 30 日） <p>20 か所での地域イベント及び特別イベント（「土佐のキャンドルナイト～高知城とお城下キャンドルアップ～」、「塩の道～いざなぎの里・物部から絵金の町・赤岡へ～」）で約 10 万人の集客</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ジャパンフラワーフェスティバル 2008 in こうち」（平成 20 年 5 月 16 日～18 日） 入場者数 45,662 人 | 春：「土佐のおきゃく」2008 | 入場者数 250,877 人 | 夏：よさこいサマーフェスタ | 入場者数 6,227 人 | 秋：高知県立牧野植物園「花遊山」 | 入場者数 22,165 人 | 冬：KOCHI キャンドルフェスタ | 入場者数 87,618 人 |
| 春：「土佐のおきゃく」2008 | 入場者数 250,877 人 | | | | | | | | |
| 夏：よさこいサマーフェスタ | 入場者数 6,227 人 | | | | | | | | |
| 秋：高知県立牧野植物園「花遊山」 | 入場者数 22,165 人 | | | | | | | | |
| 冬：KOCHI キャンドルフェスタ | 入場者数 87,618 人 | | | | | | | | |

基本方向 I 地域に光をあてる取組み

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 県立牧野植物園開園 50 周年記念「五台山花絵巻」 (平成 20 年 4 月 1 日～6 月 30 日) 入場者数 106,317 人 【環境共生課】 ○土佐・龍馬であい博の開催 (平成 22 年 1 月～平成 23 年 1 月) ○「カシオワールドオープンゴルフトーナメント」の開催継続 場所 Kochi 黒潮カントリークラブ 総観客数 (4 日間) 平成 19 年 11 月 11,958 人 平成 20 年 11 月 16,248 人 平成 21 年 11 月 20,407 人 ○「ヨコハマタイヤゴルフトーナメント PRGR レディースカップ」の誘致 場所 土佐カントリークラブ 総観客数 (4 日間) 平成 20 年 3 月 10,950 人 平成 21 年 3 月 8,536 人 平成 22 年 3 月 10,195 人 ○日本スポーツマスターズ 2008 の開催 (平成 20 年 9 月) 全 13 競技 参加者数 7,347 人 【スポーツ健康教育課】 |
|--|--|

基本方向 I 地域に光をあてる取組み

| | | | |
|---|-----------------------------|--------------------|-------------|
| | ○プロ野球・Jリーグの春・秋キャンプのスポーツ誘致活動 | | |
| | ≪全国公開した映画のロケ高知活動≫ | | |
| | 高知ロケの年度 | タイトル | 全国公開 |
| | 平成19年度 | なし | |
| | 平成20年度 | The Harimaya Bride | 平成21年6月13日 |
| | | 私は貝になりたい | 平成20年11月22日 |
| | | いけちゃんとおぼく | 平成21年6月20日 |
| | 平成21年度 | パーマネント野ばら | 平成22年5月22日 |
| | | 君が踊る、夏 | 平成22年9月11日 |
| | ○室戸ジオパークの観光資源の磨き上げ | | |
| <p>平成20年12月8日、室戸地域が日本ジオパーク委員会の認定を受けたことから、県職員1名を室戸市に派遣し、平成21年12月に室戸ジオパーク推進チーム会を設置、世界ジオパークネットワークへの加盟に向けて取り組みを進める。平成22年9月14日世界ジオパークネットワーク加盟申請の日本代表に決定。</p> | | | |
| ○魚梁瀬森林鉄道遺産など地域の重要文化財を活かした旅行商品化への取り組み | | | |
| <p>平成21年6月30日に国の重要文化財に指定されたトンネルや橋など18物件を中心に、地元のガイドが案内するツアーを商品化。</p> | | | |

基本方向 I 地域に光をあてる取組み

| | |
|--|---|
| | <p>○こうち体験ツーリズム大学の開催 県内の体験型ツーリズム品質確保研修 平成19年度 6回延べ185名受講 【地産地消・外商課】</p> <p>○土佐・龍馬であい博総合アドバイザー藤澤安良氏による観光資源の磨き上げ、体験プログラム研修の実施 平成21年度～22年度 計1,411名参加</p> <p>○高知県産業振興アドバイザーの派遣による指導・助言等（平成21年度～） 【計画推進課】</p> <p>○観光圏整備事業の推進 二泊三日以上の滞在に対応可能なエリアを国内に形成することを目的とした国の事業において幡多地域6市町村（四万十市・宿毛市・土佐清水市・黒潮町・大月町・三原村）が認定を受ける。 平成21年2月 幡多地域と高知県が共同して「四万十・足摺エリア観光圏整備計画」を作成。四万十・足摺エリア（幡多地域）観光圏協議会を設立。 平成21年4月 国土交通大臣の認定を受ける 平成21年7月 国及び県の助成を受けて観光圏事業を開始。</p> |
|--|---|

基本方向 I 地域に光をあてる取組み

| | <p>○教育旅行の受入れ</p> <p>幡多地域には、年間2千人を超える修学旅行生が訪れ、かつおのタタキづくり体験や四万十川のカヌー体験などの教育旅行が行われている。</p> <p>幡多広域観光協議会は、旅行会社との対応や各施設との受入調整、旅行終了後の精算業務の窓口となっており、地域エージェント機能を持つ組織として活動している。</p> <p>《幡多広域観光協議会の受入れ実績》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校数</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>21</td> <td>23</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>2,114</td> <td>2,355</td> <td>2,356</td> <td>2,041</td> <td>3,082</td> </tr> </tbody> </table> <p>○漁村における滞在型・体験型観光の推進</p> <p>既存の体験メニューの磨き上げや新たな体験メニューづくりを支援（平成21年度1地区） 【漁港漁場課】</p> <p>《参考》</p> <p>○高知市観光協会によるよさこい祭りでの高知城演舞場の開設（平成21年度～）</p> <p>○県立歴史民俗資料館のリニューアル（平成22年4月10日） 【文化・国際課】</p> <p>○牧野植物園に新温室開設（平成22年4月24日） 【環境共生課】</p> | 年度 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | 学校数 | 22 | 22 | 21 | 23 | 23 | 人数 | 2,114 | 2,355 | 2,356 | 2,041 | 3,082 |
|-----|---|-------|-------|-------|-------|-----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 年度 | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | | | | | | | | | | | | | | |
| 学校数 | 22 | 22 | 21 | 23 | 23 | | | | | | | | | | | | | | |
| 人数 | 2,114 | 2,355 | 2,356 | 2,041 | 3,082 | | | | | | | | | | | | | | |

基本方向 I 地域に光をあてる取組み

| 基本方針 | これまでの取組み |
|---|---|
| <p>2 食文化の伝承、食の魅力を生かした取組み ≪「ここでしか食べれんもん」でもてなそう≫</p> <p>「旅は食なり」という言葉があります。旅の楽しみ方は、「その地域でとれたものを、その地域の食べ方で、おいしく食べる」ことにあります。</p> <p>地産地消を積極的に推進するなど、地域に伝わる食文化を伝承するとともに、観光客（来訪者）に対する食の魅力を生かした取組みを進めます。</p> <p>また、他産業との連携・産地と消費者の連携を進めていくことで、ここでしか味わうことのできない「食」の提供のしかた・もてなしのしかたを工夫します。併せて、地域の美味しい食材を積極的にホテルや旅館へ提供するなど「食」による宿泊施設の魅力づくりについて取り組んでいきます。</p> <p>具体的に進めていくこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■食を楽しむ場を工夫しよう ■食に関する協働をすすめよう ■「ここでしか」「今しか」にこだわって「食」を提供しよう ■高知ならではの食の魅力を発信しよう | <p>○「花・人・土佐であい博」の食に関する地域イベント (例)・「中岡慎太郎のふるさと・柚子の里」で味わう北川村の旬（北川村） ・四万十川源流点「食べて 歩いて 見て 楽しむ」田舎体験（津野町） ・黒潮と出会えるまち松尾から語りベガイドと郷土料理のおもてなし（土佐清水市）</p> <p>○土佐の「おきやく」に観光特使が参加 観光特使と一緒に、土佐の食材を使ったおもてなし料理と土佐の地酒を満喫。「観光特使！ちくと一杯」。 観光特使参加数 平成 19 年度 37 名、平成 20 年度 44 名、平成 21 年度 55 名</p> <p>○「フェスティバル土佐 ふるさとまつり」とタイアップした高知県産業振興計画PRイベントにおける地域物産の販売等（平成 21 年 10 月 23 日～25 日） 【計画推進課】</p> <p>○高知の野菜ソムリエの育成及び「高知の野菜ソムリエがお勧めする野菜で元気店」の選定</p> <p>○「おいしい風土こうちサポーター」の登録</p> <p>○「土佐の食文化シンポジウム（「土佐の料理传承人」フェア）」の開催 【地産地消・外商課】</p> |

基本方向 I 地域に光をあてる取組み

| | |
|--|--|
| | <p>○高知市帯屋町新京橋プラザに県産品アンテナショップ「てんこす」オープン（平成 22 年 2 月 19 日）</p> <p>県内各地域の自慢の産品や新商品の販売のほか、県産品を使った美味しい料理を楽しむことができる飲食コーナーや、観光情報発信コーナー、お子様連れのお母様がひと休みできるキッズコーナーを設置 【経営支援課】</p> <p>○食や観光等の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none">・グリーンツーリズム情報誌「高知を体感！こだわりの・田舎丸ごとガイド」発行（平成 20 年 7 月発行、平成 22 年 3 月刷新）・地産地消情報誌「直販所マップ」の発行（毎年度発行）・地産地消ホームページ「おいしい風土こうち」・高知・土佐の特産品や観光情報などを一覧できる総合ポータルサイト「高知まるごとネット」開設（平成 21 年 10 月）・観光や県産品の情報等を掲載した広報紙「ちゃお高知」発行（平成 21 年 9 月、11 月、平成 22 年 1 月、3 月） 【地産地消・外商課】・「お肉自慢の店 食べ歩きマップ」 【畜産振興課】・高知県産の魚介類を使ったレシピや飲食店・小売店等を案内するホームページ「サカナチカラコウチカラ」（平成 22 年 1 月開設）・高知の魚にこだわりを持って取り扱う小売店、飲食店を「土佐の魚PR活動推進パートナー店」として登録し、ホームページで公開 【合併・流通支援課】 |
|--|--|

基本方向 I 地域に光をあてる取組み

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・製品茶や販売店の紹介、PR 活動などを掲載したホームページ「土佐茶のページ」（平成 22 年 1 月開設）【環境農業推進課】 ○東京「原宿表参道スーパーよさこい」、名古屋「にっぽんど真ん中まつり」のイベント会場で観光情報や地域物産等を P R○J R 高知駅前イベント広場で地元の物産等を販売（平成 22 年 1 月～平成 23 年 1 月）○B S 日テレ「こじゃんと土佐流」の放送 高知県の歴史・風景・人情・人々の暮らしなどを紹介するドキュメンタリー番組を全国へ発信（平成 21 年 12 月～ 全 7 回放送） 《 参 考 》○じゃらん宿泊旅行調査の都道府県別魅力度ランキングで「地元ならではのおいしい食べ物が多かった」で上位にランキング（2010 順位 1 位、2009 順位 2 位）○平成 18 年から毎年 3 月に開催される土佐の「おきゃく」の新たな取り組みとして、高知市中心部のアーケードを 7 つのエリアに分けて、それぞれのエリアで食に絡んだテーマイベントを同時に開催する「日本一の大おきゃく」を開催（平成 21 年 3 月、平成 22 年 3 月） |
|--|--|

基本方向 I 地域に光をあてる取組み

| | |
|--|--|
| | <p>○「港の土曜日」高知オーガニックマーケット開設（平成 20 年 3 月 22 日高知港に開設）、平成 22 年 1 月 16 日から県立池公園に移転し「池公園の土曜日」として開設 【港湾・海岸課、公園下水道課】</p> <p>○東京銀座にアンテナショップ「まるごと高知」を開設（平成 22 年 8 月 21 日） 【地産地消・外商課】</p> |
|--|--|

基本方向 I 地域に光をあてる取組み

| 基本方針 | これまでの取組み |
|--|---|
| <p>3 地域の産業と連携する取組み ≪皆が「得」する観光にしよう≫</p> <p>地域の産業と連携した観光のメニューづくりを進めるとともに、地域の産品や土産品・工芸品等の掘り起こしを行っていきます。それらの情報収集から発掘・販売について、一次産業から三次産業に携わる関係者が連携した体制づくりにつなげていきます。</p> <p>具体的に進めていくこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 県民みんなが関われる仕組みをつくろう ■ 地域の産業従事者が関われる仕組みをつくろう ■ 遊・食・泊の楽しい連携を進めよう | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「花・人・土佐であい博」の産業に関する地域イベント (例)・馬路村体験ツアー(わらじ編み、ゆず収穫体験)(馬路村) ・いにしへの風情漂う白壁の酒蔵と竹村家住宅の見学(佐川町) ・三原村どぶろく・農林文化祭(三原村) ○ コンビニエンスストア(ローソン、ファミリーマート、サークルKサンクス)との包括協定における観光情報の発信や、県産食材を使った弁当等の商品の企画・販売など 【政策企画課】 ○ 地産外商を推進するための官民協働の新たな組織「一般財団法人高知県地産外商公社」の設立(平成21年8月3日) ○ 「加工食品パッケージデザイン支援事業」により、龍馬伝をきっかけに高知に来られる観光客をターゲットとした商品のパッケージを見直し、磨きあげるための取り組みを支援(平成21年度) ○ 集落まるごとグリーン・ツーリズム推進事業により、旅行代理店への委託による体験ツーリズム旅行商品の開発・販売やグリーンツーリズムのPRを実施(平成21年度) 【地産地消・外商課】 ○ 高知市帯屋町新京橋プラザに県産品アンテナショップ「てんこす」オープン(平成22年2月19日)(再掲) 県内各地域の自慢の産品や新商品の販売のほか、県産品を使った美味しい |

基本方向 I 地域に光をあてる取組み

| | |
|--|--|
| | <p>料理を楽しむことができる飲食コーナーや、観光情報発信コーナー、お子様連れのお母様がひと休みできるキッズコーナーを設置 【経営支援課】</p> <p>○「フェスティバル土佐 ふるさとまつり」とタイアップした高知県産業振興計画PRイベントにおける地域物産の販売等（平成21年10月23日～25日）（再掲） 【計画推進課】</p> <p>○土佐の「おきゃく」に観光特使が参加（再掲）</p> <p>○行政、経済界や市民等による「高知ファイティングドッグスを応援する県民会議」の設立（平成22年1月30日）</p> <p>《 参 考 》</p> <p>○エンジン01文化戦略会議によるエンジン01オープンカレッジ in 高知を開催</p> <p>平成21年11月27日～29日の4日間で約15,200人の集客。平成22年3月には土佐のおきゃく2010にて講師陣6名が来高し、市内の飲食店等で「土佐の夜楽」を開催</p> <p>○じゃらん宿泊旅行調査の都道府県別魅力度ランキングで「魅力ある特産品や土産物が多かった」で上位にランキング（2010順位3位、2009順位4位）</p> |
|--|--|

基本方向 II 地域自ら光り輝く取組み

- 4 観光施設、観光サービス施設、交通基盤等の整備を促進する取組み
- 5 生活環境の美化、景観保全の取組み
- 6 観光ボランティア等の育成、確保の取組み
- 7 学校教育、社会教育における学習機会の確保の取組み

| 基本方針 | これまでの取組み |
|---|--|
| <p>4 観光施設、観光サービス施設、交通基盤等の整備を促進する取組み</p> <p>《観光客にとって便利で優しい施設やサービスを整備しよう》</p> <p>四国横断自動車道などの道路網等の整備を着実に進めるとともに、観光客（来訪者）に安心と充実感を感じてもらうための案内標識などの観光サービス施設の整備についても進めていきます。</p> <p>また、観光地間の移動を快適なものとするために、二次交通の整備に取り組んでいきます。</p> <p>具体的に進めていくこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 便利でわかりやすい取組みを進めよう ■ 優しくてホッと安心できる取組みを進めよう ■ 親切なもてなしができるような施設整備を進めよう ■ サービスの行き届いた交通基盤を整備しよう | <p>○ 南国サービスエリアや高知市中心部などで臨時観光案内所を開設 ゴールデンウィークや夏休みなどに、観光協会やボランティアガイド等と実施</p> <p>○ 高知市中心部駐車場マップの作成</p> <p>○ 高知県おもてなしイメージデザインの作成（平成 20 年）</p> <p>【デザインタイトル】 高知生まれの「まち・ゆうき君」</p>  <p>○ 県内の公衆トイレを調査し、高知県トイレマップをホームページで情報発信（平成 20 年度 510 箇所調査）</p> <p>○ 公共トイレ改修に係る市町村への助成（平成 21 年度 13 市町村 20 箇所）</p> <p>○ おもてなしシールの作成、配付 おもてなしトイレシールとして、観光客が利用できるトイレを表示シールと誘導シールの二種類で表示。コンビニエンスストア、道の</p> |

基本方向 II 地域自ら光り輝く取組み

| | |
|--|---|
| | <p>駅などに設置（81 団体、738 箇所）</p> <ul style="list-style-type: none">○高知県内の官公庁、観光・文化施設、病院などのバリアフリー情報を掲載した「みんなのおでかけマップ」の作成○「アクセスこうち」へのバリアフリー情報の掲載【障害保健福祉課】 ○県下全域で交差点案内標識、著名地点案内標識を重点的に整備（平成 21 年度 交差点案内標識 242 枚、著名地点案内標識 119 枚） 【道路課】 ○梶原町の坂本龍馬脱藩の道周辺（東区、西区、四万川区）を「おもてなしモデル地区」として認定○高知龍馬空港の 2 階の展示物のリニューアル（土佐メモリアルスクエアが平成 21 年 9 月 19 日オープン）○花・人・土佐であい博の五台山フラワーロード等整備事業<ul style="list-style-type: none">・五台山道路及び県道高知空港線沿線での花の植栽（平成 20 年度～）・高知空港窓口のプランター設置や歓迎案内板の設置（平成 21 年度）○草木伐採などビューエリア、フォトスポットの整備に係る市町村への助成（平成 21 年度 22 市町村 41 箇所）○観光案内板の整備に係る市町村への助成（平成 20 年度 10 市町村 83 基、平成 21 年度、25 市町村 215 基）○県所有の広域観光案内板の補修、修繕（県内 8 箇所） |
|--|---|

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">○「土佐のりらっくす」キャンペーンの実施 「あったか高知でまちゆうき」をキャッチフレーズに、観光客のみなさま一人ひとりにご満足いただけるおもてなしを進めるため、高知県で観光に携わる各業界が連携し、「小さなやすらぎ＝りらっくす」を提供していこうという取り組み (参加団体) 社会福祉法人土佐香美福祉会（お遍路さんのための休憩所の設置） 高知県立高知工業高等学校（観光案内板や観光案内所の製作） ○絵地図やルート図、時間・料金などを掲載した公共交通案内板を高知駅や高知龍馬空港などに設置○電車・バスの運行情報、のりかえ検索、駅・停留所検索、のりば案内などをホームページで提供する公共交通検索システム「アクセスこうち」の運用（平成 22 年 3 月～）○二次交通の結節拠点である高知駅に二次交通までのスムーズな誘導や観光地までの交通案内などを行う案内人を配置（平成 22 年 1 月～） 【運輸政策課】 ○接客技術の資質向上とホスピタリティに富む観光案内業務を組み入れた「高知県観光ガイドタクシー」の運行及び認定制度の実施（平成 21 年 1 月～） 《コース》 ・四万十・足摺・竜串・大堂を巡るタクシープラン |
|--|---|

基本方向 II 地域自ら光り輝く取組み

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・室戸・奈半利・安芸を巡るタクシープラン・香南・香美を巡るタクシープラン・[須崎] 山海ラインを巡るタクシープラン・高知龍馬空港からダイレクトに名所旧跡を巡るタクシープラン <p>○周遊観光バス「MY遊バス」の利便性の向上</p> <p>平成 21 年 10 月 31 日まで</p> <p> ルート：J R 高知駅から、はりまや橋、五台山、桂浜</p> <p> 運行日：土日祝日、ゴールデンウィーク、夏休みの運行</p> <p>平成 21 年 11 月 1 日から</p> <p> ルート：J R 高知駅から、上町、はりまや橋、五台山、桂浜</p> <p> 運行日：毎日</p> <p>《その他MYバス関係》</p> <ul style="list-style-type: none">・「MY 遊バス花・人・土佐であい博号」《J R 高知駅～牧野植物園》 (平成 20 年 4 月～平成 20 年 10 月までの平日、8 月は運休)・「MY 遊バスわくわく号」《龍河洞・アンパンマンミュージアムコース》 (平成 19 年 7 月～11 月までの土日、4 月 28 日～5 月 6 日、8 月 9 日～19 日)・MY 遊バス 四万十周遊川バス」《中村駅～江川崎駅》 (平成 19 年 4 月 28 日～5 月 6 日、7 月 21 日～8 月 31 日) (平成 20 年 4 月 26 日～5 月 6 日、7 月 19 日～8 月 31 日) |
|--|---|

基本方向 II 地域自ら光り輝く取組み

| | |
|--|--|
| | <p>○土佐・龍馬であい博 ガイド付き観光バス等の運行開始（平成 22 年 1 月 10 日～平成 23 年 1 月 10 日）</p> <ul style="list-style-type: none">・土佐・龍馬であい博号（龍馬の生まれたまち記念館や桂浜、高知龍馬空港など高知市を中心に周遊）・高知東海岸観光周遊バス（岩崎弥太郎や中岡慎太郎のゆかりの地を巡る県東部を周遊）・土佐清水サテライト会場無料送迎タクシー（中村駅、土佐清水サテライト会場、土佐清水市街地、ジョン万生誕地） <p>《 参 考 》</p> <p>○駅前タクシー乗場のタクシーを利用して、周辺の観光地をおトクな価格で気軽にまわっていただけるタクシー観光プラン「駅から観タクン高知」の運行（平成 21 年 9 月 1 日～）</p> |
|--|--|

基本方向 II 地域自ら光り輝く取組み

| 基本方針 | これまでの取組み |
|---|---|
| <p>5 生活環境の美化、景観保全の取組み ≪地域ぐるみで美しい景観づくりをめざそう≫</p> <p>山林の保護、広葉樹の植栽、川の景観保護、水質の保全、海岸の清掃など地域ぐるみで自然環境の保全に取り組みます。また、観光地の周辺や道路の沿線の清掃活動や、花を植えるなどの景観づくりに努めます。</p> <p>具体的に進めていくこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 県民みんなで環境保全や景観保護に取り組もう ■ 美しい景観を生かした観光に取り組もう | <p>○花・人・土佐であい博一斉清掃の実施（平成 20 年 2 月）</p> <p>○地域が主体となった観光地での美化活動の実施</p> <p>≪おもてなし「春の一斉清掃」≫</p> <p>平成 20 年 2 月 22 日 155 団体 2,231 名参加</p> <p>≪おもてなし「秋の一斉清掃」≫</p> <p>平成 20 年 10 月 17 日 145 団体 1,508 名参加</p> <p>平成 21 年 10 月 22 日 218 団体 2,231 名参加</p> <p>≪「清潔で美しい高知県を作る条例」に基づく県民一斉美化活動≫</p> <p>平成 19 年から毎年 2 月を県民一斉美化活動月間と定める。</p> <p>県職員率先美化活動</p> <p>平成 21 年 2 月 8 日 1,021 名参加（14 市町村、18 箇所 計 2,300 名）</p> <p>平成 22 年 2 月 7 日 1,347 名参加（20 市町村、30 箇所 計 4,232 名）</p> <p style="text-align: right;">【環境対策課】</p> <p>○四万十川条例の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四万十川財団（県と四万十川流域 5 市町（四万十市、四万十町、中土佐町、津野町、梶原町）が共同で基本財産を出資して設立）による四万十川の保全と地域の振興を図る。 ・四万十川条例に基づく「四万十川流域振興ビジョン」を策定（平成 22 年 3 月） <p>（四万十川条例推進事業の概要）</p> <p>①四万十川条例に基づく重点地域の指定及び許可基準(案)の作成</p> |

基本方向 II 地域自ら光り輝く取組み

| | |
|--|---|
| | <p>②人と自然が共生する「共生モデル地区」に関する取組み (四万十川財団運営補助金の取組み内容)</p> <p>①四万十リバーマスター(育成事業)提供による川に関する情報の提供及び川を中心とした地域の案内人の養成</p> <p>②四万十まるごと博物館事業(インタープリター養成等を通じた受入体制の整備)</p> <p>③四万十川流域内の体験型施設(農家民宿等)で組織した「四万十川グリーンツーリズム連絡会」を発足させ、情報交換、研修を行い、受入体制を強化</p> <p>④流域市町村が実施する四万十一斉清掃活動に対する支援</p> <p>⑤文化庁の「重要文化的景観」選定に向け流域市町村での調査事業ための協議や調整を実施。答申を受けてからは、流域市町村及び首都圏で記念シンポジウムを開催、協議会では情報交換や調整を実施 【環境共生課】</p> <p>○高知県豊かな環境づくり総合支援事業による、自然環境の保全に取り組む団体等への助成 【林業環境政策課】</p> <p>○草木伐採などビューエリア、フォトスポットの整備に係る市町村への助成(再掲)(平成21年度 22市町村 41箇所)</p> <p>○漁村における滞在型・体験型観光の受入体制の整備 漁村らしい風景のなかで漁業体験ができるよう、漁港の美化活動を実施(平成21年度 10漁港) 【漁港漁場課】</p> |
|--|---|

基本方向 II 地域自ら光り輝く取組み

| | |
|--|--|
| | <p>《 参 考 》</p> <ul style="list-style-type: none">○88 クリーンウォーク四国実行委員会による「88 クリーンウォーク四国」への参加（8月の「道路ふれあい月間」に合わせ四国4県で道路一斉清掃。毎年8月8日開催）○四万十川総合保全機構による四万十川流域一斉清掃への参加 ○「高知県四万十川の保全及び流域の振興に関する基本条例」に基づくNPO・ボランティア団体による環境保全の取り組み 平成19年 27団体、平成20年 28団体 【環境共生課】 ○四万十川流域が国の「重要文化的景観」に選定（平成21年2月21日）○中土佐町久礼地区が国の「重要文化的景観」に選定（平成23年2月7日） 【文化財課】 ○室戸地域が日本ジオパークとして認定（平成20年12月8日） 平成22年9月世界ジオパークネットワーク加盟申請の日本代表に決定 |
|--|--|

基本方向 II 地域自ら光り輝く取組み

| 基本方針 | これまでの取組み | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----------------|-----------------|---------|---------|-----|-----------------|-----------------|-----------------|-------|------|------|------|
| <p>6 観光ボランティア等の育成、確保の取組み ≪地域の案内人を育てよう≫</p> <p>「高知県観光ビジョン」を県民全体に普及させ、ホスピタリティの醸成を図ります。また、観光ボランティア育成に向けて県民の意識を高めていくことを目指します。</p> <p>そうした取組みによって、観光客（来訪者）を温かく迎える「おもてなしの心」にあふれた受入れ態勢を整備していきます。また、「体験型観光」を展開していくために必要となる地域の案内人の養成を実施していきます。</p> <p>具体的に進めていくこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■地域の案内人を育てよう ■観光ボランティアガイドを育成し、活動を支援しよう | <p>○県主催の観光ガイド研修、観光ガイドセミナーの実施</p> <p>平成19年度 192名参加（奈半利町、四万十市、佐川町、高知市）</p> <p>平成20年度 101名参加</p> <p>平成21年度 85名参加</p> <p>○観光ガイド団体が実施する研修への助成</p> <p>平成20年度 4団体、平成21年度 17団体</p> <p>○観光ガイド組織数 ※県が把握している数</p> <table border="1" data-bbox="1010 630 1973 826"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成20年4月</th> <th>平成21年4月</th> <th>平成22年4月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>組織数</td> <td>15団体 (10市町村)</td> <td>18団体 (13市町村)</td> <td>25団体 (18市町村)</td> </tr> <tr> <td>ガイド人員</td> <td>346人</td> <td>375人</td> <td>447人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○地域の観光情報を取り扱う核となるビジターセンターの設置に係る設備や看板代等の経費を助成（平成19年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐くろしお鉄道東部ビジターセンター（安芸駅内） ・幡多地域幡多観光ビジターセンター（四万十市観光協会内） <p>○幡多広域観光協議会の組織強化への支援</p> <p>組織強化のために専任の県職員を設置し、高知県地域コーディネート組織確立支援事業費補助金により法人化に係る経費を助成。平成22年度6月15日に一般社団法人として登記。同年度に旅行業の第二種免許を取得</p> | | 平成20年4月 | 平成21年4月 | 平成22年4月 | 組織数 | 15団体 (10市町村) | 18団体 (13市町村) | 25団体 (18市町村) | ガイド人員 | 346人 | 375人 | 447人 |
| | 平成20年4月 | 平成21年4月 | 平成22年4月 | | | | | | | | | | |
| 組織数 | 15団体 (10市町村) | 18団体 (13市町村) | 25団体 (18市町村) | | | | | | | | | | |
| ガイド人員 | 346人 | 375人 | 447人 | | | | | | | | | | |

基本方向 II 地域自ら光り輝く取組み

| | |
|--|--|
| | <p>○あったか観光マインド表彰の実施 平成18年度 2名、2団体 平成19年度 2名 平成21年度 3名</p> <p>○伊野商業高校との連携事業による臨時観光案内等の実施（平成21年度）</p> <p>《 参 考 》</p> <p>○高知市観光協会が4年ぶりに土佐観光大学を開講し、観光ガイドボランティアを養成（平成21年9月）</p> |
|--|--|

基本方向 II 地域自ら光り輝く取組み

| 基本方針 | これまでの取組み |
|---|--|
| <p>7 学校教育、社会教育における学習機会の確保の取組み ≪高知県の自然・歴史・文化を学ぼう≫</p> <p>地域の資源を題材として地域の「達人」の話を書く機会を設けたり、地域住民同士の交流を促進するなど、地域において自ら学ぶ機会を設けます。また県立施設の活用や体験型観光を積極的に推進することにより、学ぶ場の機会も提供していきます。</p> <p>具体的に進めていくこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域に誇りをもってもらおう ■ 地域の文化を知ろう、生かそう | <p>○「花・人・土佐であい博」における学習機会の確保 ≪大学への講座開設≫</p> <p>地域活性化に取り組む地域のキーパーソンを講師とする講義及びフィールドワークによる講座を実施し、大学生が積極的に地域活性化に参画することにより、地域資源を生かした観光振興につながっていく流れをつくる。</p> <p>≪花の育苗システム事業≫</p> <p>県内の小中学校、障害者施設、地域の住民団体などが育苗や管理を行う仕組みづくりを進め、「花育」の効果をあわせ、県民運動としてのおもてなしの機運を高める。</p> <p>平成 19 年度 79 校 4,223 個、19 団体 2,941 個 平成 20 年度 56 校 3,049 個</p> <p>○「高知県おもてなし県民会議」の開催（平成 19 年 8 月 28 日設置）</p> <p>高知県を訪れる観光客に、気持ちよく高知県の魅力に触れ、楽しんでいただけるよう、高知県の観光に関するおもてなしの取り組みを進めるために設置した会議で、「おもてなしアクションプラン」の進捗状況等について協議を行う。</p> <p>○「こうち・おもてなしフォーラム」の開催</p> <p>観光の意義や役割、おもてなしの必要性や可能性を協議・検討するとともに、地域で活動する組織間の連携をつくる。</p> <p>≪平成 20 年 10 月 16 日 高新 R K C ホール 参加者約 300 人≫</p> |

基本方向 II 地域自ら光り輝く取組み

| | |
|--|--|
| | <p>基調講演 『お客様を主人公とするおもてなしの心』 講師 宮端清次氏（元株式会社 はとバス代表取締役社長） 《平成 22 年 1 月 30 日 ホテル高砂 参加者約 60 人》 基調講演 『二つのホスピタリティ』 真のおもてなしとは何か 講師 塚本恭丈氏（日本政府観光局企画本部総務部 観光情報センター）</p> <p>○四国 4 県の観光協会（コンベンション）による四国観光検定の実施 ・平成 18 年度から平成 20 年度の三年間で、四国内外から延べ 2,730 名が受験し、総勢 1,080 名が合格し「四国観光達人」として認定 ・「四国観光検定」公式ホームページのリニューアル(平成 22 年 3 月)</p> <p>○高知県豊かな環境づくり総合支援事業による、自然環境の保全に取り組む団体等への助成（再掲） 【林業環境政策課】</p> <p>○伊野商業高校との連携事業による臨時観光案内等の実施（平成 21 年度）（再掲）</p> <p>○県立足摺海洋館での海洋教育の機会拡充（平成 20 年 4 月～） ・大水槽でエサやり体験の開始 ・年間パスポートの発行 ・四万十・足摺エリアにある竜串海中公園の観光施設を、まとめてお得利用できる共通入場券「竜串サンゴパス」の発売開始</p> |
|--|--|

基本方向 II 地域自ら光り輝く取組み

| | |
|--|---|
| | <p>《 参 考 》</p> <p>○観光庁の観光カリスマ百選に、馬路村農業協同組合代表理事専務 東谷 望史氏が「特産品(ゆず加工品)と共に村をまるごとブランド化に導いたカリスマ」として選定。観光庁主催の観光カリスマ塾を馬路村で開催（平成 20 年 11 月 20 日～ 21 日）</p> |
|--|---|

基本方向 III 地域外に光を発する取組み

- 8 すべての人にやさしい観光地づくりへの取組み
- 9 観光情報の発信、国内外からの誘客を促進する取組み
- 10 四国4県の連携を促進する取組み

| 基本方針 | これまでの取組み |
|--|---|
| <p>8 すべての人にやさしい観光地づくりへの取組み</p> <p>◀「居心地がよかった」と言ってもらえる観光地づくり▶</p> <p>案内板や観光案内所、観光ガイドブックやガイドマップ、ホームページなどの整備を行い、すべての人にわかりやすい観光地づくりを目指します。同時におもてなしの気持ちを大切に、地域を訪れる人たちを笑顔で迎え、交流を楽しむことができるように、地域ぐるみの受入れ態勢の整備を進め、みんなから「高知は居心地がよかった」と言ってもらえる観光地づくりをめざします。</p> <p>具体的に進めていくこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■居心地のいい施設にしよう ■おもてなしのこころを育てよう ■使い勝手のいいサービスを考えよう | <p>○南国サービスエリアや高知市中心部などで臨時観光案内所を開設（再掲）</p> <p>ゴールデンウィークや夏休みなどに、観光協会やボランティアガイド等と実施</p> <p>○「花・人・土佐であい博」もてなしの顔をつくる事業の実施</p> <p>◀花のシンボルモニュメントの設置▶</p> <p>県外からの主要な交通アクセス拠点や主要観光施設などに花のプランターやシンボルモニュメントを設置 計 18 基</p> <p>◀花の育苗システム事業▶（再掲）</p> <p>県内の小中学校、障害者施設、地域の住民団体などが育苗や管理を行う仕組みづくりを進め、「花育」の効果をあわせ、県民運動としてのおもてなしの機運を高める</p> <p>平成 19 年度 79 校 4,223 個、19 団体 2,941 個</p> <p>平成 20 年度 56 校 3,049 個</p> <p>◀花いっぱい運動▶</p> <p>花を活用した「おもてなし」として地域団体などが主体となり各地域で花や樹木を集中的に植栽して景観形成を行う取り組みに対して、必要な種</p> |

基本方向 Ⅲ 地域外に光を発する取組み

| | |
|------------------------|--|
| <p>■外国からの観光客をもてなそう</p> | <p>苗や資材等を支援 平成 19 年度 30 か所、平成 20 年 23 か所</p> <p>○四国ツーリズム創造機構（旧四国観光立県推進協議会）による国際観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none">・四国インバウンドフェアの開催・韓国TV番組で四国を周遊する旅行商品の販売・幡多地域へ外国人（欧米系）を駐在させ、ブログによる情報発信など <p>○おもてなしトイレシールの五ヶ国語表示</p> <p>○観光案内板整備における英語表示</p> <p>※「4 観光施設、観光サービス施設、交通基盤等の整備を促進する取組み」の再掲</p> <p>※「6 観光ボランティア等の育成、確保の取組み」の再掲</p> <p>《 参 考 》</p> <p>○道路案内標識および道案内システム「ココ！マーク高知」が 2009 年度グッドデザイン賞を受賞 【道路課】</p> <p>○じゃらん宿泊旅行調査の都道府県別魅力度ランキングで「地元の人 のホスピタリティを感じた」で上位にランキング（2010 順位 5 位、2009 順位 4 位）</p> |
|------------------------|--|

基本方向 III 地域外に光を発する取組み

| 基本方針 | これまでの取組み | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---------|---------|---------|---------|---------|-----|-----|------|------|------|-------------|------|-----|-------------|------|-----|-------------|------|-----|
| <p>9 観光情報の発信、国内外からの誘客を促進する取組み</p> <p>《文化は観光・観光は文化 情報の質を高めよう》</p> <p>高知県の文化を観光情報として発信するとともに、本県への観光客（来訪者）に向けて効果的な情報発信を行うため、イメージやストーリー性、ターゲットの絞り込みなどを行っていきます。そのため地域情報の整理を行うコーディネート機能を確立していきます。</p> <p>「功名が辻」の放送等、メディアとリンクした情報の発信が本県観光の魅力PRの絶好の機会となることから、フィルムコミッション事業の展開と併せて、積極的な情報発信を実施していきます。また、国内外からの誘客に向けた条件の整備を実施していきます。</p> <p>具体的に進めていくこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 質の高い観光情報を発信しよう ■ 「あそこに行きたい！」と思わせる情報を発信しよう | <p>○高知県観光特使による高知県観光のPR</p> <p>《観光特使の人数の推移》</p> <p>平成17年6月8日(第1回) 43名</p> <p>平成22年9月24日時点 260名 (年度末の累計人数)</p> <table border="1" data-bbox="1010 523 1917 624"> <thead> <tr> <th>平成17年度末</th> <th>平成18年度末</th> <th>平成19年度末</th> <th>平成20年度末</th> <th>平成21年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>83名</td> <td>92名</td> <td>128名</td> <td>148名</td> <td>221名</td> </tr> </tbody> </table> <p>《県外で観光特使ブロック交流会での観光特使の出席状況》</p> <table border="1" data-bbox="1014 679 1751 831"> <tbody> <tr> <td>平成19年10月16日</td> <td>関東地区</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>平成20年11月20日</td> <td>関西地区</td> <td>11名</td> </tr> <tr> <td>平成22年11月12日</td> <td>関東地区</td> <td>54名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○高知龍馬空港の2階の展示物のリニューアル(土佐メモリアルスクエアが平成21年9月19日オープン)(再掲)</p> <p>○福岡空港での観光、物産販売等のPR(平成21年11月6日～8日)</p> <p>○高知県の観光情報等を発信するホームページの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県観光ガイド「よさこいネット」の充実 ・四国西南地域観光連絡協議会による、四国西南地域のモデルコースの作成及びホームページリニューアル(平成21年3月) ・高知・土佐の特産品や観光情報などを一覧できる総合ポータルサイト「高知まるごとネット」開設(平成21年10月) | 平成17年度末 | 平成18年度末 | 平成19年度末 | 平成20年度末 | 平成21年度末 | 83名 | 92名 | 128名 | 148名 | 221名 | 平成19年10月16日 | 関東地区 | 22名 | 平成20年11月20日 | 関西地区 | 11名 | 平成22年11月12日 | 関東地区 | 54名 |
| 平成17年度末 | 平成18年度末 | 平成19年度末 | 平成20年度末 | 平成21年度末 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 83名 | 92名 | 128名 | 148名 | 221名 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成19年10月16日 | 関東地区 | 22名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成20年11月20日 | 関西地区 | 11名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平成22年11月12日 | 関東地区 | 54名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

基本方向 Ⅲ 地域外に光を発する取組み

| | |
|--|---|
| | <p>○情報発信館「とさてらす」をJR高知駅前に開設（平成22年1月10日～）</p> <p>○高知県総合観光のパンフレット等の作成</p> <p> 《花・人・土佐であい博推進委員会発行》</p> <ul style="list-style-type: none">・花・人・土佐であい公式ガイドブック・県内の花の見所を紹介した花マップ「高知花紀行」 <p> 《土佐・龍馬であい博推進協議会発行》</p> <ul style="list-style-type: none">・土佐・龍馬であい博公式ガイドブック（平成21年度）・周遊チラシ「トサコレ」（平成21年度） <p> 《高知県観光コンベンション協会発行》</p> <ul style="list-style-type: none">・あったTOSA（平成19年度）・高知旅 magazine IGOSO（平成20年度）・ゆるり土佐時間（平成21年度） <p> 《高知県》</p> <ul style="list-style-type: none">・高知県観光ガイドブック「であいの国土佐」（平成20年度）・文化広報誌「とさのかぜ」（平成19年度～21年度）【文化・国際課】・観光や県産品の情報等を掲載した広報紙「ちゃお高知」（平成21年9月、11月、平成22年1月、3月）【地産地消・外商課】・グリーンツーリズム情報誌「高知を体感！こだわりの・田舎丸ごとガイド」発行（平成20年7月発行、平成22年3月刷新）【地産地消・外商課】 |
|--|---|

基本方向 Ⅲ 地域外に光を発する取組み

| | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">○ J R 四国商品説明会へ参加し、高知県の観光素材、モデルコースを P R (平成 20 年、平成 21 年)○ 旅行会社、出版社へのモニターツアーの実施 (海洋館、龍馬博)○ 龍馬ゆかりの県と連携した観光物産展の開催 (in 京都)○ B S 日テレ「こじゃんと土佐流」の放送開始 (再掲) 高知県の歴史・風景・人情・人々の暮らしなどを紹介するドキュメンタリー番組を全国へ発信 (平成 21 年 12 月～)○ 東京「原宿表参道スーパーよさこい」、名古屋「につぼんど真ん中まつり」でのイベント会場で観光情報や地域物産等を P R。(再掲) ○ 漁村における滞在型・体験型観光の情報発信 県内漁村における 129 の体験メニューを調査(平成 21 年度) 【漁港漁場課】 《 参 考 》○ 幡多広域観光協議会が第 5 回オーライ！ニッポン全国大会グランプリを受賞 (平成 20 年 3 月)○ 東京銀座にアンテナショップ「まるごと高知」を開設 (平成 22 年 8 月 21 日) |
|--|--|

基本方向 Ⅲ 地域外に光を発する取組み

| 基本方針 | これまでの取組み |
|--|---|
| <p>10 四国4県の連携を促進する取組み ≪四国4県の魅力の足し算≫</p> <p>四国全体に共通するテーマの4県での情報発信や四国東南や西南部など、魅力ある観光資源の組み合わせによる広域観光ルートの検討、確立を図っていきます。また四国霊場八十八ヶ所や四国アイランドリーグなど四国に共通する魅力あるテーマの情報発信や誘客のための事業を共同で実施していきます。</p> <p>具体的に進めていくこと</p> <p>■四国をまるごと楽しむ観光メニューを開発しよう</p> | <p>○四国ツーリズム創造機構（四国観光立県推進協議会）による四国4県が連携した取組み</p> <p>平成21年7月31日、四国観光立県推進協議会を発展的に解散し、新たに航空会社や旅行代理店などの民間企業を新たな構成員に加えた官民一体となった「四国ツーリズム創造機構」が発足</p> <p>平成22年度から3年間の「四国観光交流戦略」を策定し、その中で、観光客の滞在期間拡大を促し、さらには四国全域への効果波及を目指すことを目的に、四国西南部を重点着地エリアとして位置づけるなど、従来の自治体主導の枠組みを超えた、エリア均等意識に束縛されない民間ならではの発想が盛り込まれる</p> <p>取組事例：航空会社（JAL・ANA）とタイアップした四国周遊バス観光、レンタカープランの実施</p> <p>四国の認知度を向上させる国内外へのプロモーション活動 など</p> <p>○四国八十八箇所お遍路めぐりの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・標識等の整備【道路課】 ・「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会と連携した世界遺産登録への取組み【政策企画課】 ・パンフレット「四国遍路へでかけよう」の作成【四国ツーリズム創造機構】 |

基本方向 Ⅲ 地域外に光を発する取組み

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・ キャンペーン等の実施【四国グリーン・ツーリズム推進検討会】 <p>○四国4県の観光協会（コンベンション）による四国観光検定の実施（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none">・平成18年度から平成20年度の3年間で、四国内外から延べ2,730が受験し、総勢1,080名が合格し「四国観光達人」として認定・「四国観光検定」公式ホームページのリニューアル(平成22年3月) |
|--|---|

あったか高知観光条例の基本方針の実施状況(市町村等への助成事業)

| 実施事業名 | 市町村等名 | 事業主体 | 事業費:千円 | 左のうち県費:千円 | 実施概要 |
|--|--------------|-------|--------|---|---|
| 観光政策課 高知県観光ビジョン 実践支援事業 ＜平成19年度＞ | 東部観光開発促進協議会 | 同左 | 1,401 | 700 | 高知東海岸100物語交流メニューづくり事業 高知東海岸100物語実行委員会を開催し、テーマ毎の課題の整理や地域を越えたネットワークづくりに対して補助を行った。 ＜平成19年度のテーマ＞ 祭り、山里の暮らし、古い民家の活用、歴史遺産、花園 |
| | 安芸市 | 同左 | 300 | 150 | 観光案内板整備事業 市内の観光案内板11箇所のリニューアル |
| | 佐川町 | 同左 | 800 | 400 | 佐川まちの駅観光活性化事業 ①佐川町観光ビジョンの検討②観光ボランティアの養成・確保③観光資源の保護・発掘④観光案内所(まちの駅事務所)の運営⑤観光マップづくり⑥観光客の接待 |
| | 津野町 | 同左 | 248 | 123 | 平成19年度津野町風の里公園活用実践事業 風の里公園や史跡、宿泊所、体験施設、飲食店等を紹介するマップを作成する。滞在型交流拠点施設等のネットワーク会議の取組む「食」の取組みを進める。コンビニエンスストアやガソリンスタンドなどが協力している観光案内ネットワーク会議において、観光案内板を作成について検討する。 |
| | 中土佐町 | 同左 | 2,373 | 1,187 | 中土佐町上ノ加江・矢井賀地区案内標識板設置工事 体験観光の強化に伴う案内看板の設置(町内道路14箇所への案内板の設置) |
| | 幡多広域観光協議会 | 同左 | 1,800 | 900 | 幡多広域ツーリズムネットワーク推進事業 誘致及び招へい旅費 900千円、印刷製本費 900千円 |
| | 四万十市 | 同左 | 600 | 300 | 観光資源商品化支援事業 観光ガイド養成講座の実施。モニターツアーの開催。 |
| | 土佐清水市 | 同左 | 758 | 379 | 体験観光ネットワークシステム構築事業 体験観光実践者や宿泊施設との連携システムの構築(観光協会を中心としたPR・受発注システムの構築) →ブログの作成 |
| | 土佐清水市 | 同左 | 500 | 250 | もてなし観光スキルアップセミナー開催事業 観光客への食と接客サービスのスキルアップ(竜串地区の料理メニューの改善など) |
| | 大月町 | 同左 | 376 | 188 | 体験型観光受入体制整備事業 修学旅行や一般客の受入れを実施するためのアドバイザーの招へい、インストラクター養成講座の実施、モニターツアーの実施 |
| 宿毛市 | 同左 | 1,155 | 577 | パンフレット・案内シール・案内板作成業務 観光パンフレット作成委託料998千円、観光パンフレット印刷735千円、遍路道案内シール作成508千円、観光案内板作成1,000千円 | |
| 高知県観光ビジョン 実践支援事業 ＜平成20年度＞ | 安芸広域市町村圏事務組合 | 同左 | 1,205 | 600 | 高知東海岸100物語交流メニューづくり事業 高知東海岸100物語実行委員会を開催し、テーマ毎の課題の整理や地域を越えたネットワークづくりに対して補助を行った。 ＜平成20年度のテーマ＞ 観光・体験アクションプログラムの作成 |
| | 佐川町 | 同左 | 430 | 200 | 佐川まちの駅観光活性化事業 ①観光資源の保護・発掘 ②観光ボランティアの養成・確保 ③観光情報の発信 |

あったか高知観光条例の基本方針の実施状況(市町村等への助成事業)

| 実施事業名 | 市町村等名 | 事業主体 | 事業費:千円 | 左のうち県費:千円 | 実施概要 |
|---|-----------|---------------------|--------|-----------|---|
| | 四万十市 | 同左 | 600 | 300 | 観光資源商品化支援事業 ①四万十市体験型観光パンフレットの作成及び誘致活動 ②四万十川でのイベント |
| | 幡多広域観光協議会 | 同左 | 1,400 | 700 | 幡多広域地区着地型エージェント機能推進事業 幡多地域での教育旅行の受入機能の強化に対して補助を行った。 ①体験型観光及び教育旅行における受入窓口の一元化 ②体験型観光プログラムの強化・開発提案 ③情報発信・収集・誘致 ④受入団体の意識レベルの向上と人材育成 |
| | 土佐清水市 | 同左 | 600 | 300 | 竜串観光施設共通パスポート作成事業 竜串地域の各観光施設を利用できる共通パスポートの作成 |
| | 土佐清水市 | 同左 | 600 | 300 | 椿咲く岬もてなし観光事業 足摺岬先端部において椿を中心にしたイベントなどを行う。 |
| | 土佐清水市 | 同左 | 400 | 200 | 清水の今全国発信事業 市内の観光地に定点カメラを設置し、土佐清水市の情報をホームページ上で発信する。 |
| 観光政策課 高知県観光産業振興事業費補助金 ＜平成21年度＞ | 高知市 | 東映株式会社 | 10,305 | 5,000 | よさこい祭りを題材とした映画製作(高知ロケ)への支援 |
| | 高知市 | 高知県旅館ホテル生活衛生同業組合 | 5,000 | 2,000 | ウェブマガジン旅色高知版の作成 |
| | 四万十市 | 四万十市観光振興連絡会議 | 1,945 | 835 | 四万十川でのイベント開催 |
| | 土佐清水市 | 土佐清水市大河ドラマ活用事業推進協議会 | 2,366 | 1,183 | 新たな海の体験メニューづくり、地域でとれた食材を使った郷土料理づくり体験の立ち上げ支援 |
| | いの町 | 同左 | 1,457 | 729 | 町の資源を活用した新しい体験観光プログラムの開発及びパンフレットの作成等による情報発信 |
| 観光政策課 高知県観光施設等緊急魅力向上事業(施設改修分) ＜平成21年度＞ | 高知市 | 同左 | 798 | 532 | 高知市立龍馬の生まれたまち記念館ロードサインの設置 |
| | 高知市 | 同左 | 6,162 | 4,108 | 国民宿舎桂浜荘の南側壁銅板塗り替え |
| | 高知市 | 同左 | 7,014 | 1,122 | ・はりまや橋からくり時計全体のオーバーホール |
| | 安芸市 | 同左 | 5,900 | 3,933 | 観光施設(旧物産センター)の改修 ・外装塗装工事、内装改修工事、電気配線工事、空調機取付工事、電話設備工事、駐車場区画線設置工事 |
| | 香南市 | 同左 | 1,085 | 723 | 舞川キャンプ場遊歩道緊急改修事業 ・遊歩道橋の改修 ・路側の改修 |

あつたか高知観光条例の基本方針の実施状況(市町村等への助成事業)

| 実施事業名 | 市町村等名 | 事業主体 | 事業費:千円 | 左のうち県費:千円 | 実施概要 |
|--|-------|------------------------|--------|-----------|--|
| | 四万十市 | 同左 | 2,699 | 1,799 | ホテル星羅四万十の電動ブラインド修繕 |
| | 土佐清水市 | 同左 | 7,269 | 4,846 | 観光施設等緊急改修事業(ジョン万ハウス) ・電気設備の増設工事 ・遮光工事 ・空調設備の増設 |
| | 北川村 | 同左 | 7,171 | 4,780 | モネの庭整備事業 ・花の庭強風対策 ・フラワーハウス内舗装補修 ・駐車場補修 ・外部構造物塗り替え ・施設内誘導看板 |
| | 北川村 | 同左 | 3,535 | 2,356 | 向学の道整備事業 ・路側崩壊危険箇所の整備 ・危険箇所への手すりの設置 |
| | 北川村 | 同左 | 4,410 | 2,940 | 魚梁瀬森林鉄道「小島橋」の橋脚部分の改修 |
| | いの町 | 同左 | 6,912 | 4,608 | グリーンパークほどの施設屋根改修(シャワー棟、宿泊棟、宿泊棟付シャワー棟、バーベキュー棟) |
| | 佐川町 | 同左 | 1,224 | 816 | 佐川地質館の既設の案内看板3箇所のリニューアル |
| | 佐川町 | 同左 | 2,537 | 1,691 | 長谷渓谷遊歩道改修事業 ・遊歩道の金属製構造物の修繕、補強及び再塗装 ・入口の案内地図看板の修繕 |
| | 梶原町 | 同左 | 3,058 | 2,038 | 掛橋和泉邸改修事業 ・移築前の状態に改修(土間、囲炉裏の間、照明等) |
| | 梶原町 | 同左 | 1,801 | 5,000 | 梶原町歴史民俗資料館改修工事事業 ・バリアフリー対応 ・1階部分壁・床張り替え |
| | 黒潮町 | 同左 | 3,885 | 2,590 | カツオふれあいセンター黒潮一番館改修事業 ・建物の鉄骨・ボルトの塗り替え ・カツオのモニュメント及びPR看板の設置(建物壁面に設置) ・建物内にカツオに関するパネルの設置 |
| 観光政策課 高知県着地型旅行 商品開発促進事業 費補助金 ＜平成21年度＞ | 高知市 | JTB中国四 国高知支店 | 7,027 | 3,513 | 着地型旅行商品/パンフレット「旅百話「待ちゆうき 土佐の国」」の作成 ・関西・中国地区でのプロモーション活動 |
| | 高知市 | トップツアー 株式会社高 知支店 | 1,269 | 635 | 着地型旅行商品/パンフレット「トップツアーCUTE きて みいや! 高知」の作成 首都圏でのプロモーション活動 |
| | 高知市 | 株式会社城 西館 | 918 | 442 | 着地型旅行商品/パンフレット「高知の旅が10倍楽しく なる 体験型プログラムガイド」の作成、チラシの増刷 首都圏、関西、中国四国でのプロモーション活動 |

あったか高知観光条例の基本方針の実施状況(市町村等への助成事業)

| 実施事業名 | 市町村等名 | 事業主体 | 事業費:千円 | 左のうち県費:千円 | 実施概要 |
|--|--------------------|---------------------|--------|-----------|--|
| 観光政策課 高知県地域コーディネート組織確立支援事業費補助金 <平成21年度> | 四万十市 | 幡多広域観光協議会 | 315 | 315 | 幡多広域観光協議会の法人化にかかる経費への助成(定款の作成及び法人設立登記について司法書士への委託料) |
| 観光政策課 高知県観光圏整備事業費補助金 <平成21年度> | 幡多地域6市町村 | 土佐清水商工会議所 | 28,944 | 7,707 | 国の認定を受けた観光圏整備事業に基づく事業の実施 ・観光圏クーポン付ガイドブック作成事業 ・観光圏地産地消メニュー開発・販売ロゴ作成事業 ・観光圏体験等プログラム開発・受発注システム開発事業 ・観光圏広域周遊ルート作成事業 ・観光圏人材育成事業 ・観光圏観光案内板設置事業 ・QRコード等を利用した観光圏情報提供システム開発事業 ・観光博覧会等出展事業 |
| 地域づくり支援課 元気のでる市町村総合補助事業 <平成19年度> | 室戸市 | 同左 | 24,566 | 13,000 | ・イルカ飼育による地域活性化事業 ①施設整備 |
| | 室戸市 | 室戸市食遊館808 | 1,382 | 685 | ・室戸市民宿旅館等活性化補助事業 ①ホームページ作成 ②パンフレット作成 |
| | 梶原町 | 同左 | 43,091 | 21,525 | ・鷹取の家整備事業 ①鷹取の家改修 |
| | 越知町 | 越知平家会 | 3,171 | 1,585 | ・横倉山に伝わる安徳天皇潜幸伝説でまちおこし ①アニメDVD作成 |
| | 仁淀川町 | 同左 | 3,591 | 1,795 | ・秋葉まつりの里ブランづくり事業 ①ワークショップ企画運営 ②先進地視察 |
| | 須崎市 | 同左 | 1,880 | 940 | ・まち全体がサービスエリア構想推進事業 ①アドバイザー派遣 ②マップ作成 ③看板設置 |
| | 中土佐町 | 同左 | 49,476 | 24,316 | ・四万十源流の家及びバンガローの改修事業 ①源流の家改修 ②バンガロー改修 ③備品購入 |
| | 津野町 | 同左 | 2,936 | 1,464 | ・龍馬脱藩の道周辺整備事業 ①案内板、展望台、東屋等整備 ②イベント案内 |
| | 土佐清水市 | 同左 | 1,200 | 600 | ・竜串におけるブルーツーリズム推進事業 ①ガイド育成 ②オニヒトデ駆除の体験メニュー化 |
| | 宿毛市 | 沖の島観光協会 | 1,299 | 450 | ・沖の島アドベンチャーラン事業 ①イベントの見直し ②コースの修復 |
| | 大月町 | 同左 | 1,933 | 966 | ・コスモス祭会場整備事業 ①会場整備 |
| | ごめん・なはり線活性化協議会 | 同左 | 6,000 | 3,000 | ・平成19年度ごめん・なはり線支援事業 ①モニターツアー実施及びPR ②高知県東部地域の情報発信 ③スタンプラリー、体験ガイドマップ作成 |
| | 高知県予土線利用促進協議会 | 同左 | 352 | 175 | ・乗って残そう予土線利用促進事業 ①フォトコンテスト開催 |
| | 土佐くろしお鉄道中村宿毛線運営協議会 | 同左 | 4,231 | 914 | ・土佐くろしお鉄道中村・宿毛線利用促進事業 ①駅まつり開催 ②企画列車の運行 ③鉄道体験ツアーの開催 |
| 元気のでる市町村総合補助事業 <平成20年度> | 東洋町 | 同左 | 34,150 | 17,052 | ・「海の家」施設設置事業 ①海の家新設 |
| | 安田町 | 中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会 | 3,000 | 1,500 | ・中芸地域に残る森林鉄道遺産に関する情報の収集及び活用 ①森林鉄道の情報、資料の収集 ②地域座談会の開催 ③マップの作成 |
| | いの町 | 同左 | 12,621 | 6,310 | ・グリーンパークほどの整備事業 ①遊歩道整備 ②森林学習館整備 |
| | いの町 | 同左 | 4,149 | 1,952 | ・本川地区観光施設改修事業 ①給水施設整備 ②公衆便所改修 |

あつたか高知観光条例の基本方針の実施状況(市町村等への助成事業)

| 実施事業名 | 市町村等名 | 事業主体 | 事業費:千円 | 左のうち県費:千円 | 実施概要 |
|-----------------------------------|----------------------------|---------------------------------------|--------|-----------|---|
| | 土佐市 | 同左 | 868 | 434 | ・土佐市ウォーキングマップ等作成事業 ①マップ、看板等作成 |
| | 越知町 | 同左 | 3,006 | 1,503 | ・JR越知駅跡地活用プランづくり事業 ①ワークショップ等の開催 ②報告書の作成 |
| | 須崎市 | 同左 | 697 | 348 | ・すさきサービスエリアタウン推進事業(すさきSAT事業) ①アドバイザー招へい ②お接待所開設委託等 |
| | 四万十町 | 同左 | 3,977 | 1,958 | ・旧門脇家住宅保存活用事業 ①門脇家修復 ②四万十カルタ作成 |
| | 四万十町 | 四万十川 中流域川 舟下り組合 | 7,879 | 3,930 | ・川舟下り事業 ①川舟建造 ②事務所等整備 |
| | 黒潮町 | 同左 | 3,659 | 1,829 | ・カツオ文化のまちづくり事業 ①商品開発 ②食品機能調査 |
| | 宿毛市 | 同左 | 3,074 | 1,537 | ・沖の島交流人口拡大事業 ①観光パンフレット作成 ②展望台設置 ③簡易シャワー施設設置 |
| | 大月町 | 同左 | 1,404 | 700 | ・月光桜(アズリ桜)会場整備事業 ①ふれあい広場整備 |
| | ごめん・なはり線 活性化協議会 | 同左 | 5,040 | 2,520 | ・ごめん・なはり線キャラクター着ぐるみ作製事業 ①ごめん・なはり線キャラクター着ぐるみ購入 |
| | 高知県予土線利用 促進協議会 | 同左 | 320 | 160 | ・乗って残そう予土線利用促進事業 ①イベント開催 |
| | 土佐くろしお鉄道 中村宿毛線運営 協議会 | 同左 | 2,111 | 544 | ・土佐くろしお鉄道中村・宿毛線利用促進事業 ①企画列車運行 ②体験ツアー開催 等 |
| | 土佐くろしお鉄道 中村宿毛線運営 協議会 | 同左 | 2,974 | 1,391 | ・幡多広域観光物産PR事業 ①首都圏へのPR |
| 地域づくり支援課 地域づくり支援事業 <平成21年度> | 奈半利町 | 同左 | 2,738 | 1,369 | ・海辺を活かした交流空間形成推進事業 ①シーカヤック設備導入 |
| | 田野町 | 大野倶楽部 | 1,000 | 500 | ・体験型観光への取り組み～大野台地は、えいとこ ろ！～ ①情報収集 ②資料作成 ③会議運営補助等 |
| | 安芸市 | 「はばたけ 弥太郎・龍 馬伝」安芸 市推進委 員会 | 3,327 | 1,596 | ・大河ドラマ「龍馬伝」を活用した安芸市を元気にする 事業 ①講演会 ②先進地視察 ③スタッフジャンパー ④特産品開発 |
| | 安芸市 | 同左 | 385 | 192 | ・安芸市のいいもの掘り起こし事業 ①地域住民と大阪観光大学による体験・滞在型観光 への検討 |
| | 本山町 | 同左 | 573 | 286 | ・汗見川ふれあいの郷清流館整備事業 ①業務用流し台・ガスコンロ設置 ②網戸の交換 |
| | 土佐市 | 同左 | 2,300 | 971 | ・ジョン万次郎スタディ&風土(フード)カタログ作成事 業 ①カタログ作成 |
| | 日高村 | 同左 | 14,756 | 7,212 | ・旧松岡酒造酒蔵保存活用事業 ①酒蔵保存修復 |
| | 四万十市 | 地域づくり の会しゃえ んじり | 1,598 | 799 | ・口屋内地域づくり整備事業 ①加工場の整備 |
| | 土佐清水市 | 同左 | 40,196 | 19,862 | ・地域まるごと戦略観光展開事業 ①体験型交流施設整備 ②地域食材販売施設整備 ③地域食材供給施設整備 |
| | ごめん・なはり線 活性化協議会 | 同左 | 504 | 252 | ・ごめん・なはり線携帯用ホームページ(ゴトゴトweb) 作成事業 ①携帯ホームページの作成 ②基本データベース作成・更新 |

あつたか高知観光条例の基本方針の実施状況(市町村等への助成事業)

| 実施事業名 | 市町村等名 | 事業主体 | 事業費:千円 | 左のうち県費:千円 | 実施概要 |
|---|-------|--------------------|--------|-----------|---|
| 計画推進課 高知県産業振興推進総合支援事業費補助金 <平成21年度> | 室戸市 | NPO法人室戸ドルフィンプロジェクト | 3,920 | 2,613 | イルカ飼育による地域活性化事業 (事業目的) 3年間を経過した、イルカ飼育事業の本格展開に向けて必要な施設整備を行うとともに、継続可能な運営体制の整備と事業の発展・拡大を目指す。 (事業概要) ①機能強化等のための施設の整備・備品の購入 ②夏期繁忙期のドルフィンスイム体験者への対応 ③広報、PR活動 |
| | 仁淀川町 | 仁淀川流域茶産地振興協議会 | 1,209 | 562 | 仁淀川流域茶産地振興事業 (事業目的) 仁淀川流域の茶産地全体のブランド化に向けて、仁淀川流域茶の統一ブランドの創造、ブランドイメージに基づいた販売促進資材作成、製品茶のマーケティング、流域ぐるみでのPR活動などを実施する。 (事業概要) ①流域茶産地のイメージロゴ、販売促進資材の作成、統一ブランドマークの作成 ②県内外での販売促進イベントへの参加 ③新たな茶製品の開発の検討 ④アドバイザーによる消費拡大勉強会 ⑤販売促進用HPの検討 |
| | 大月町 | (財)大月町ふるさと振興公社 | 21,614 | 13,271 | 大月まるごと販売事業 (事業目的) 「ふれあいパーク大月」を拠点として、特産品開発や販売、集客の仕組みを構築し、大月をまるごと販売、情報発信することにより「大月町のファンづくり」を推進し、人がにぎわい、ものが売れる仕組みを作り、地域産業の再生とそれに伴う雇用の確保、そして、これに係る住民の安定収入を図る。 (事業概要) ①地場産品総合販売ビジネス ②特産品開発生産ビジネス ③観光資源活用交流ビジネス |
| | 土佐町 | 土佐れいほく農業協同組合 | 35,858 | 23,677 | れいほくスタイル環境保全型ビジネス推進事業～安全・安心れいほくブランド製品の確立と地産地消・地産外商を目指して～ (事業目的) 環境保全型農業の取り組みで生まれた野菜や米粉を活用したビジネスの展開により、安全・安心なれいほくブランド産品を消費者へ提供することで、地産地消、地産外商への拡大を図る。 (事業概要) ①米粉の製造・販売ビジネス ②米粉加工品製造・販売ビジネス ③米粉の里の実現 ④れいほく八菜等販売促進 ⑤直販所開設 ⑥都市との交流推進 |
| | 四万十町 | 四万十町(株)あぐり窪川 | 37,692 | 25,128 | 四万十町拠点ビジネス体制整備事業 (事業目的) (株)あぐり窪川を拠点組織と位置付け、関係団体・機関の協力・支援を受けながら新たな拠点ビジネス体制を構築することにより、中山間地域の所得向上、雇用機会の創出を図る。 (事業概要) 1)地域食材、加工品の総合販売ビジネス ①新商品の開発等 ②集出荷体制の構築 ③販売システムの構築 ④加工施設整備(シイラ) 2)地域資源活用交流ビジネス ①交流拠点の充実と整備 ②体験メニューの構築 |

あつたか高知観光条例の基本方針の実施状況(市町村等への助成事業)

| 実施事業名 | 市町村等名 | 事業主体 | 事業費:千円 | 左のうち県費:千円 | 実施概要 |
|-------|------------------|--|--------|-----------|---|
| | 津野町 | 津野町 津野町ふる さとセンター 等 | 35,502 | 23,668 | 津野町地域資源「ふる」活用ビジネス事業 (事業目的) ビジネスの拠点となる組織が中心となって、直販所 やアンテナショップを活かした農産物販売システムを 定着させるとともに、津野町の豊かな自然や伝統文 化、食材といった地域資源を有効に活用する仕組み や体制の整備、町内外への発信などによる交流人口 の拡大を促進する。併せて、地域のイメージを盛り込 んだ土産品の開発拠点の整備などを行うことにより、 地域の所得の向上と雇用の創出を図る。 (事業概要) ①地産地消ビジネス ②観光交流ネットワークビジネス ③加工品開発販売ビジネス |
| | 安芸広域市町村 圏事務組合 | 安芸広域市 町村圏事務 組合 | 7,617 | 3,808 | 安芸広域体験型観光旅行商品化等事業 (事業目的) 県東部地域の活性化のため体験型観光の旅行商 品化と販売受入態勢の整備を行い、交流人口の拡大 を図る。 (事業概要) ①体験型観光商品化及びモニターツアーによる完成 度検証 ②広報素材集の作成 ③プロモーションビデオの作成 ④大都市圏での営業活動 ⑤ランドオペレーター機能設置の検討 |
| | 室戸市 | 室戸市 室戸ジオ パーク推進 協議会 室戸市観光 協会 | 29,823 | 14,841 | 地質資源を活かした交流人口の拡大事業(世界ジオ パーク認証に向けた取組) (事業目的) 世界ジオパークネットワークに認定されることによ り、外国からの来訪者の増加や地質資源を活用した 観光、教育等の交流人口の増加によって地元産業と 地域の活性化を図る。 (事業概要) ①行当岬遊歩道整備事業 ②ガイド養成事業 ③室戸ジオパークDVD作成事業 ④ディスプレイ設置 ⑤展示室設置事業 ⑥ホームページ作成等 ⑦世界ジオパーク申請書作成委託 |
| | 安田町 | 中芸地区森 林鉄道遺産 を保存・活用 する会 | 8,500 | 5,600 | 中芸地区森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大 事業 (事業目的) 中芸地区に残された森林鉄道遺産を地域の文化財 として保存し、古い町並み等の歴史遺産や他の観光 及び自然資源等と組み合わせながら売りだすことによ って、交流人口の拡大を図り、地域の活性化につな げていく。 (事業概要) ①環境の整備 ②情報の収集・整理 ③情報の発信 ④普及啓発・ファンづくり ⑤受入態勢の整備 |
| | 安田町 | 安田町 | 50,588 | 24,511 | 観光と交流の拠点づくり事業(古民家と地場産品販売 施設を活かした交流人口の拡大) (事業目的) 各施設の連携による面的効果を発揮することで、観 光・文化的遺産への波及を目指す。 (事業概要) ①歴史的建造物修復(旧柏原邸等修復) |

あったか高知観光条例の基本方針の実施状況(市町村等への助成事業)

| 実施事業名 | 市町村等名 | 事業主体 | 事業費:千円 | 左のうち県費:千円 | 実施概要 |
|-------|-------|------------------|--------|-----------|---|
| | 黒潮町 | 黒潮町 黒潮町商工会 | 12,615 | 8,410 | 黒潮一番地カツオビジネス創造事業(カツオ文化のまちづくり事業) (事業目的) 日本一のカツオの漁獲量を誇る「カツオ一本釣り船団」を有する黒潮町佐賀地域において、カツオを使った漁師町ならではの味の提供、新たな商品開発、交流人口の拡大の取組などを進めることによって、カツオ文化のまちとしてのブランド化を図り、所得の向上につなげる。 (事業概要) ①カツオ関連商品開発・販売拡大事業 ・カツオ関連加工食品の開発、販路構築 ・日戻りカツオ販路拡大 ②カツオ文化交流人口拡大事業 ・黒潮一番館機能強化 ・タタキづくり体験学習資料整備 など |
| | いの町 | 同左 | 2,986 | 1,492 | グリーンパークほどの整備計画策定事業 (事業目的) 「グリーンパークほどの」を環境学習施設として整備し、小・中学校の環境教育の体験学習の場や、企業等の研修の場としての利用を促進することにより、体験型観光の推進を目指す。 (事業概要) ①整備計画の作成(環境学習及び体験項目の例示、整備事業費の算出等) ②先進施設調査 |
| | 越知町 | 越知町 [越知町観光協会] | 73,014 | 22,991 | まちの駅「観光物産館おち駅」施設整備事業 (事業目的) 観光や商店街の積極的な情報発信及び地場製品の販売、高齢者など周辺住民が気軽に立ち寄れるコミュニティ機能等、活用プランに沿った施設整備、施設利用を行い、農・商・観が融合した、活力あるまちづくりを推進するとともに、地域における雇用創出、生産者の所得向上を目的とする。 (事業概要) 「観光物産館おち駅」施設整備 |
| | 北川村 | 同左 | 49,193 | 29,793 | 中岡慎太郎館を核とした観光振興と地域産品販売拡大事業 ～「龍馬伝」を活かした交流人口の拡大～ (事業目的) 「龍馬伝」を絶好のチャンスと捉え、中岡慎太郎館を核として、3つの観光施設(中岡慎太郎館・モネの庭・北川村温泉)に柚子を絡ませながら一体的に売り出し、一層の交流人口拡大と収益確保を目指した取組を進める。 (事業概要) ①展示造りリニューアル ②説明パネル・コーナーサイン取替 ③映像機器リニューアル ④展示映像リニューアル ⑤設備改修 |
| | 高知市 | NPO法人きらりこうち都市づくり | 4,985 | 2,000 | 高知市観光遊覧船事業 (事業目的) 「龍馬伝」の放送によって観光客が増加するこの機会を捉え、乗船人数の制約のため、大型バスツアー団体の受入ができていない観光遊覧船の態勢を充実させることにより、収益の向上を図る。また、観光遊覧船事業により、観光客の高知市滞在時間の延長を促進し、観光振興や地域経済の活性化につなげる。 (事業概要) ①2隻で運行している観光遊覧船の3隻目を購入 |
| | 中土佐町 | 企画ど久礼もん企業組合 | 8,996 | 3,921 | 鯉乃國のDO' KUREMON店舗開設事業 (事業目的) 中土佐町の商業・観光の中核である大正市場の前にテイクアウトを中心としたファーストフード店舗を開設し、鯉にこだわった商品を販売し、入込客や交流人口の拡大を図ることで、地域の活性化を図る。 (事業概要) 鯉にこだわった商品を販売するファーストフード店舗の整備 |

あったか高知観光条例の基本方針の実施状況(市町村等への助成事業)

| 実施事業名 | 市町村等名 | 事業主体 | 事業費:千円 | 左のうち県費:千円 | 実施概要 |
|---|-------|--------|--------|-----------|---|
| 経営支援課 <平成21年度> 中心商店街活性化 モデル事業費補助金 | 高知市 | (株)まこと | 61,722 | 8,021 | 高知市中心商店街(新京橋プラザ)に県産品アンテナ ショップ「てんこす」をオープン(H22.2.19開設から H23.2.18までの実施概要) ①地産地消・地産外商促進事業 ・県産品の販売(33市町村より約2,150品目)、テスト マーケティングの実施(13業者) ・県産品を使った飲食の提供 ・観光客に対する高知県情報の提供 ②中心商店街支援事業 ・おむつ替えや授乳ができる場の提供 ・商店街の回遊につながるイベントの実施(商店街元 気祭り、顔出し看板の設置、こじゃんと文化祭、ナイト バザール) ③コミュニティ事業 ・高齢者や子育て世代向けの教室の開催 |
| 林業環境政策課 豊かな環境づくり総 合支援事業 <平成19年度> | 安田町 | 同左 | 250 | 114 | 安田町クリーンアップ推進事業 住民ボランティアによる安田町河川敷の不法投棄ゴミ の撤去や清掃作業、パトロールを行い、環境美化活 動に取り組むとともに、地域の子もたちと水生生物 調査や環境美化啓発看板の作製・設置を行った。 ①不法投棄ゴミの撤去や清掃作業、パトロール等 ②環境美化啓発看板の作製・設置 |
| | 宿毛市 | 同左 | 308 | 153 | 足摺宇和海国立公園沖の島海中公園オニヒトデ駆除 事業 足摺宇和海国立公園沖の島海中公園区域内におい てオニヒトデの駆除を行い、サンゴ礁景観を保護し、 環境保全の意識啓発を行った。 ①オニヒトデの駆除の実施 |
| | 大月町 | 同左 | 1,386 | 693 | 海洋資源保全活用事業 大月町の沿岸域においてサンゴ等の被害区域の調 査及び保全活動を実施し、海洋資源の保全を行っ た。 ①サンゴ被害状況調査 ②サンゴ移植 ③オニヒトデ等の駆除 |
| 豊かな環境づくり総 合支援事業 <平成20年度> | 大月町 | 同左 | 1,500 | 573 | 大月町海洋資源保全活用事業 大月町の沿岸域においてサンゴや藻場の現況調査 及び保全活動を実施し、海洋資源の保全を行った。 ①サンゴ生息状況調査及び藻場の調査 ②保全啓発活動 ③オニヒトデ等の駆除 |
| | 宿毛市 | 同左 | 408 | 153 | サンゴ食害生物及びサンゴ育成状況調査事業 足摺宇和海国立公園沖の島海中公園区域及び周辺 海域においてサンゴ食害生物及びサンゴ育成状況調 査を実施した。 ①サンゴ食害生物生息状況・サンゴ育成状況調査 ②オニヒトデ等の駆除 |
| 環境共生課 四万十川条例推進 事業 <平成21年度> | — | — | 4,449 | 4,449 | |
| 四万十川条例推進 事業 <平成20年度> | — | — | 4,353 | 4,353 | ①四万十川条例に基づく重点地域の指定及び許可基 準(案)の作成 ②人と自然が共生する「共生モデル地区」に関する取 組 |
| 四万十川条例推進 事業 <平成19年度> | — | — | 5,833 | 5,833 | |

あったか高知観光条例の基本方針の実施状況(市町村等への助成事業)

| 実施事業名 | 市町村等名 | 事業主体 | 事業費:千円 | 左のうち県費:千円 | 実施概要 |
|--|-------|-------|---------|-----------|--|
| 環境共生課 四万十川財団活動 推進事業費(四万十 川財団運営補助金) <平成21年度> | — | — | 2,047 | 2,047 | ①四万十リバーマスター(育成事業)提供による川に 関する情報の提供及び川を中心とした地域の案内人 の養成 ②四万十川流域内の体験型施設(農家民宿等)で組 織した「四万十川グリーンツーリズム連絡会」を発足さ せ、情報交換、研修を行い、受入体制を強化 ③流域市町村が実施する四万十一斉清掃活動に対 する支援 ④文化庁の「重要文化的景観」の答申を受け、流域市 町村及び首都圏で記念シンポジウムを開催し、協議 会では情報交換や調整を実施 |
| 四万十川財団活動 推進事業費(四万十 川財団運営補助金) <平成20年度> | — | — | 2,403 | 2,403 | ①四万十リバーマスター(育成事業)提供による川に 関する情報の提供及び川を中心とした地域の案内人 の養成 ②四万十まるごと博物館事業(インタープリター養成 等を通じた受入体制の整備) ③流域市町村が実施する四万十一斉清掃活動に対 する支援 ④文化庁の「重要文化的景観」の答申を受け、流域市 町村及び首都圏で記念シンポジウムを開催し、協議 会では情報交換や調整を実施 |
| 四万十川財団活動 推進事業費(四万十 川財団運営補助金) <平成19年度> | — | — | 917 | 917 | ①四万十リバーマスター(育成事業)提供による川に 関する情報の提供及び川を中心とした地域の案内人 の養成 ②四万十まるごと博物館事業(インタープリター養成 等を通じた受入体制の整備) ③流域市町村が実施する四万十一斉清掃活動に対 する支援 ④文化庁の「文化的景観」選定に向け流域市町村で の調査事業のための協議や調整を実施 |
| 環境共生課 牧野植物園管理運 営費 <平成21年度> | — | — | 492,015 | 0 | 南園温室の建替えや駐車場等の整備を実施 温室=1,185.56㎡ |
| 漁港漁場課 滞在型・体験型観光 推進事業費補助金 <平成21年度> | 土佐市 | 宇佐もんや | 750 | 375 | 「宇佐のうめ」を原料とした新たな加工品の開発と調 理体験による体験観光の推進のため調理体験器具 に補助を行った。 |